

第十八章 資料

日高町全域を含む旧氣多郡関係資料を基礎に、近世における各章の記述をすすめてきたが、本章においては、収集された近世関係の豊富な資料の中から、特に、村明細帳・検地名寄帳・村法を掲載した。

村明細帳は椒村外二十カ村分を代表的なものとして取上げ、原文のまま全文を掲載した。
検地・名寄帳は、村々人別石高反別を丹念に集計し之を表にまとめて村別に掲載し、年別にその変遷を確める資料とした。

村法では田ノ口村の規定の外、若干の村法資料を掲載した。

これらによつて、各章内容の参考にせられたい。

なお関係資料の不足などにより取り扱い得なかつた分野も多々あるが、封建制度における庶民の身分差別の問題等もその一つである。下巻において、身分制度と差別の作られてきた歴史的過程を明らかにしたいと思ふ。

従つて本資料の中に資料として原文のまま身分呼称を掲載しているが、この資料のつくられて来た年代と身分制度の強化された過程を明らかにするためにも、あえて削除する事をさけ資料の提示に終つてゐる。

第一節 村明細帳のいろいろ

| | | | |
|-----------------|--------------|-----------------|--------------|
| ① 椒村 (生野領) | 元禄九年 (一六九六) | ⑯ 庄境村 (上旧豊岡享保) | 弘化三年 (一八四六) |
| ② 久斗村 (出石領) | 元禄十年 (一六九七) | ⑰ 羽尻村 (生野領) | 明治七年 (一八七四) |
| ③ 松岡村 (出石領) | 宝永三年 (一七〇六) | ⑪ 十戸村 (豊岡新料) | 明治七年 (一八七四) |
| ④ 頃垣村 (出石領) | 宝永三年 (一七〇六) | ⑫ 大岡寺村 (天保上知) | 明治七年 (一八七四) |
| ⑤ 栢本村 (出石領) | 宝永三年 (一七〇六) | ⑬ 山宮村 (天保上知) | 明治十六年 (一八八三) |
| ⑥ 浅倉村 (出石領) | 宝永三年 (一七〇六) | ⑭ 伊福村 (出石新料) | |
| ⑦ 椒村 (出石領) | 宝永三年 (一七〇六) | ⑮ 知見村 (知久美浜領) | |
| ⑧ 海老原村 (出石領) | 宝永三年 (一七〇六) | ⑯ 奈佐路村 (上旧杉原明和) | |
| ⑨ 猪爪村 (杉原領) | 宝永七年 (一七一〇) | ⑰ 知見村 (知久美浜領) | |
| ⑩ 伊府村 (生野領) | 宝永七年 (一七一〇) | ⑱ 伊福村 (生野領) | |
| ⑪ 野村 (知旧豊岡享保上) | 宝曆三年 (一七五三) | ⑲ 伊福村 (生野領) | |
| ⑫ 伊福村 (知旧豊岡享保上) | 宝曆十年 (一七六〇) | ⑳ 伊福村 (生野領) | |
| ⑬ 知見村 (知旧豊岡享保上) | 明和九年 (一七七二) | ㉑ 伊福村 (生野領) | |
| ⑭ 奈佐路村 (上旧杉原明和) | 安永四年 (一七七五) | ㉒ 伊福村 (生野領) | |
| ⑮ 殿村 (生野領) | 天明九年 (一七八九) | ㉓ 伊福村 (生野領) | |
| ⑯ 肖田村 | 文政十三年 (一八三〇) | ㉔ 伊福村 (生野領) | |
| | 弘化三年 (一八四六) | ㉕ 伊福村 (生野領) | |

① 椒村 元禄九年（一六九六）

「庄屋年寄酒屋鍛冶医者牢人遊民之類改帳」

但州氣多郡
庄屋

椒村

一、米三斗。高拾石余。但州氣多郡
但州氣多郡
庄屋

市右衛門

是は百年余代々庄屋役目相勤申候由、私は三拾年以前未

ノ年（寛文七年、一六六七）より庄屋役目相勤、為給

米、壹年に米三斗宛、自分持高不殘役目仕候。居屋敷前

々より除地にて、諸役不仕候。其外物成無御座候。

与三右衛門

一、米少し茂無御座候。高五石余。同村年寄

是は四拾年以前（明暦三年、一六五七）より年寄役相勤

申候。持高居屋敷共、諸役仕候。

一、米少し茂無御座候。高八石余。同村年寄

五郎兵衛

是は四拾年以前（明暦三年、一六五七）より年寄役相勤

申候。持高居屋敷共、諸役仕候。

一、米三斗。高拾五石余。樹下村庄屋

五郎左衛門

是は百年余代々庄屋役目相勤申候由、私は三拾年以前

ノ年（寛文二年、一六六二）より庄屋役目相勤申候。

一、米少し茂無御座候。高五石余。同村年寄

与右衛門

是は拾五年以前（延宝七年、一六七九）より年寄

四郎右衛門

役相勤申候。持高居屋敷共、諸役仕候。

一、米少し茂無御座候。高五石余。同村年寄

三郎左衛門

是は拾八年以前末ノ年（延宝七年、一六七九）より庄屋

役目相勤申候。為給米、壹年に米壹斗宛、自分の持高不

殘役目仕候。其外物成無御座候。

一、米少し茂無御座候。高五石余。同村年寄

市右衛門

是は三拾年以前西ノ年（明暦三年、一六五七）より年寄役目相勤申候。持高居屋敷共、諸役仕候。

一、米少し茂無御座候。高三石余。同村年寄

市右衛門

是は三拾年以前巳ノ年（寛文五年、一六六五）より年寄役目相勤申候。持高居屋敷共、諸役仕候。

一、米壹斗。高五石余。樹、床瀬村庄屋

三郎左衛門

是は拾八年以前末ノ年（延宝七年、一六七九）より庄屋

役目相勤申候。為給米、壹年に米壹斗宛、自分の持高不

殘役目仕候。其外物成無御座候。

是は拾八年以前末ノ年（延宝七年、一六七九）より年寄

役目相勤申候。持高居屋敷共諸役仕候。

一、米五升。高三石余。杣、銅山村庄屋

佐右衛門

是は四拾七年以前寅年（慶安三年、一六五〇）より庄屋

役目相勤申候。私は五年以前申年（元禄五年、一六九二）
より庄屋役目相勤申候。為給米、壹年に米五斗宛、自分
之持高不残役目仕候。其外物成無御座候。

一、米少し茂無御座候。高壠石余。同村年寄

忠兵衛

是は四拾七年以前寅年（慶安三年、一六五〇）より年寄

役目相勤申候。持高諸役仕候。居屋敷前々より余地に

而、諸役不仕候。

一、当村居住の牢人之事、是は無御座候。

右同断

酒屋

木工右衛門と申者御座候

甚澄と申者御座候

是は無御座候

大工

鍛治

陰陽師、神子

盲女并道心者、非人

無御座候

右の品々相改、帳面に仕立、差上げ候趣、相違無御座

候。以上。

元禄九年（一六九六）子十月

杣、下庄村屋

年寄

同

杣、中庄村屋

年寄

同

杣、床瀬庄村屋

年寄

同

杣、銅山村庄屋

年寄

忠兵衛

市右衛門

弥左衛門

谷右衛門

与三右衛門

五郎兵衛

四郎左衛門

与右衛門

佐右衛門

忠兵衛

②久斗村 元禄十年（一六九七）

元禄拾年

諸事書上帳 氷多郡久斗村

覺

〔竹野町、富森一雄文書〕

一、本高百六拾七石六升六合 氷多郡之内久斗村
内、拾武石武斗武升武合 大永荒 無地高

| | |
|-----------------------|------------------------|
| 百五拾四石八斗四升四合 | 有地 |
| 内、壱石九升弐合 | 庄屋屋舗引ケ御永免地 |
| 弐斗八合 | 溝下ニ引ケ |
| 弐斗三升五合 | 烟方盛達引ケ |
| 、壱石五斗三升五合 | 諸事引方 |
| 残テ 百五拾三石三斗九合 | 毛付 |
| 内、百武拾八石五斗壱升八合 | 田方 |
| 七石七斗四升弐合 | 烟方田ニ成ル |
| 但し御免相、但し烟方ニ三歩上りニ被仰付來候 | 度御伐被遊候。但し庄屋敷之儀ハ御赦免被遊候。 |
| 拾七石四升三合 | 烟方 |
| 外ニ、 | |
| 一、高式石七斗八升三合 | 新発田高 |
| 内、壱石弐斗七升六合 | 田方 |
| 壱石五斗七合 | 烟方 |
| 一、綿目 弐百四拾三匁弐分 | 上納桑方 |
| 一、米 壱石五斗 | 上納山御年貢 |
| 一、同 六合 | 上納絹役 |
| 一、同 壱斗弐升 | 上納糠藁代 |
| 一、銀 拾三匁三分五厘 | |
| 一、夫米之儀ハ御物成壱石ニ付七升五合宛上納 | |
| 一、口米之儀ハ御物成壱石ニ付三升宛上納 | |

| |
|---|
| 一、家数 式拾弐軒 |
| 一、人数 九拾五人 内五拾老人男、四拾四人女 |
| 一、寺八当村ニ 無御座候 |
| 一、官 式ヶ所 鳴龍大明神 一社 御除地 |
| 一、堂 壱軒 觀音堂 出石豊岡両御分持分 |
| 一、竹 御用ニ付御伐被遊候節ハ、百姓持戴ニ而三年ニ一度御伐被遊候。但し庄屋敷之儀ハ御赦免被遊候。 |
| 一、御用林 当村ニハ無御座候 |
| 一、城山、当村ニハ無御座候 |
| 一、馬、当村ニハ無御座候 |
| 一、牛數 三疋、村中ニ御座候 |
| 一、右の外何ニ而も御小物成御運上物無御座候 |
| 一、当村高式百六拾六石八斗三合 |
| 内、百六拾七石六升六合 出石御領分 |
| 九拾九石壱升七合 豊岡御領分 |
| 一、沼池 壱ヶ所 御領分と豊岡御領分両方之場所ニ而御座候。大サ八畝計ほど御座候。 |
| 一、預り鉄砲、差上鉄砲共、当村ニハ無御座候 |
| 一、何ニ而も当村ニ申候事ハ無御座候 |
| 右之通り少しも相違不申上候。若偽申上候ハバ、後日ニ脇より御聞被遊候共、何ニ□ニも可被仰付候。仍而如件。 |

元禄拾年（一六九七）丑ノ九月十一日

久斗村庄屋 五郎太夫 印

御奉行様 年寄 勘十郎

御奉行様 〔出石藩主松平伊賀守〕

〔久斗、橋本高明文書〕

残 武百石八斗五升武合

此反別 拾七町三反武畝

内、

壱町五反五畝武拾七步 田方

烟方

此訛 石盛 壱石三斗

上田 八町九反三畝拾八步

分高

百拾六石壹斗六升八合

中田 三町武反九畝六步

石盛 壱石武斗

下田 壱町三反四畝九步

石盛 分高 三拾九石五斗四合

下田 壱町三反四畝九步

石盛 分高 拾四石七斗七升三合

大荒 六斗

大荒 式町壹反五畝

分高 拾武石九斗

分高 百八拾三石三斗四升五合

分高 此別 拾五町七反武畝三步

大荒 四反壹畝武拾七步

内、 三町武反武畝武拾四步

分高 三拾九石六斗六升三合

大荒 四反壹畝武拾七步

内、 四拾武石三斗四升八合

高々 式石五斗壹升四合

武町壹反五畝 大荒無地高引

③松岡村 宝永三年（一七〇六）

宝永三年

但馬氣多郡松岡村差出帳

戊八月八日

但馬氣多郡 松岡村

江戸陸道 百五拾里ト申候

寛文元年（一六六一）御検地

一、 高 武百四拾三石六斗九合 御水帳之面

此反別式拾町九反六畝武拾壹步

内、 拾九町三反六畝武拾四步 田方

壹町五反九畝七步 煙方

内、 三町武反武畝武拾四步 新村渡り

分高 三拾九石六斗六升三合

大荒 四反壹畝武拾七步

内、 四拾武石三斗四升八合

高々 式石五斗壹升四合

武町壹反五畝 大荒無地高引

残 壱石九斗三升八合 定成

此反 壱反六畝六步

一、下々畠 六畝六步 新発畠方

分高 三斗七升五合 毛附

右は宝永元年（一七〇四）申年伊賀守様（出石藩主松平）

御役人沢井新兵衛殿御改御免狀ニ載 但し御水帳ハ不被

下候

右之外新発 無御座候

一、土地ハ真土少し黒土、石地砂地山土ニ而御座候

一、当村旱損ハ無御座候、水損洪水之節御座候

一、高江掛リ物夫米口米糠藁代之外無御座候

一、荏 無御座候

一、掛け物之内高へ入之物 無御座候

一、魚鳥御運上 無御座候

一、御林 無御座候

一、御竹藪 無御座候

一、芝野 御座候

此反 六反余 気多川端

□月より稻干場ニ御除被下候

一、御水帳 壱冊

此反 四反余

四拾六年以前 寛文元年（一六六一）丑王八月

小出大和守様（出石藩主）御検地

棹手役人

大崎金左衛門 殿

遠山吉左衛門 殿

□□三太夫 殿

松原傳右衛門 殿

樋口茂兵衛 殿

木村半左衛門 殿

神西七左衛門 殿

南部吉右衛門 殿

岡田八郎右衛門 殿

少し御座候二付

真綿 四拾目 上納仕候

一、檜漆 無御座候

一、紙漉 無御座候

一、蚕養 少こし宛仕候

但し自桑少しこと御座候ニ付買桑ニ而銅申候

一、薪取場 無御座候

但し年内大形買燒仕候 其外式里三里方々江參り買

取申候

一、草取場 壱ヶ所 四ヶ村人相

| | |
|--|---|
| 右は松岡村土居村山本村三ヶ村入相ニ草刈取候得 共、十七年以前ニ杉原播磨守様御領猪爪村より出入 仕懸け、江戸御公儀様より四ヶ村入相ニ被仰付就夫、 反申段不申候 御絵岡土居村ニ御座候 | 一、閑并役所井料 無御座候 |
| 山手米 式斗四升 | 一、水門 無御座候 |
| 一、塩焼 沼地 | 一、川除 御普請、大土手石はねにて御座候自然損し百姓 御口被遊候得共御扶持方代被下候 |
| 一、炭燒 | 一、溜池 無御座候 |
| 無御座候 | 一、用水堰 杭柵 石土俵閑 六ヶ所 無御座候 |
| 無御座候 | 右百姓閑ニ而御座候 |
| 無御座候 | 井料 無御座候 |
| 百姓林 | 一、右水本 御領内道場村、道法式里程之所、田蒔中へ取 但し小出縫殿様(旗本)御知行所八代中村分山壹ヶ 所御座候 山手米 五斗五升上納仕候 百姓三人持 居申候 |
| 無御座候 | 一、水樋 川運上 海運上 猪船 渡船 無御座候 高百石ニ付壹斗遣し閑守ニ閑せ申候 |
| 百姓分御運上仕林 | 一、夫米 御物成米、大豆、百石ニ付七石五斗宛上納仕候 一、口米 御物成米、大豆、百石ニ付三石宛上納仕候 一、六尺給 無御座候 |
| 無御座候 | 一、當村數式抬軒 内、拾壹軒 百姓 九軒 水呑 家數拾八軒 |
| 野錢 | 一、屋敷 拾壹軒 八軒 水呑 |
| 米壹斗壹升 茶代 | 米武斗四升 銀拾五匁三分六厘 糠糞代 |
| 山手米 | 一、内、拾軒 八軒 |

| | | | | | |
|--------------------------|--------------------|---------|-------------------------|-----------------|--------|
| 一、野烟屋敷 | 武軒 | 内、壱軒 | 百姓 | 一、木挽 | 無御座候 |
| 此反 | 四畝弐拾歩程 | 年貢地 | 八人持 | 一、樞屋 | 無御座候 |
| 内、壱畝拾八步 | 庄屋敷免屋敷内 | | | 一、鍛冶屋 | 無御座候 |
| | | | | 一、陣屋屋敷 | 無御座候 |
| 一、土手敷 | 壱ヶ所 | 土手下引地之内 | | 一、獵師 | 無御座候 |
| 此反 | 五畝九歩程、小から竹、数竹、持主六人 | | | 一、酒屋 | 無御座候 |
| 一、人数合 | 百七人 | | | 一、御年貢米之儀当村川岸江出し | 無御座候 |
| 内、三人 | 山伏 | | | 一、出石 | 陸道 式里半 |
| 五拾人 | 男 | | | 一、船道 | 四里 |
| 五拾四人 | 女 | | | 伏村御藏江 | 陸道 壱里半 |
| 当春御改之人數 | | | | 船道 | 三里半 |
| 右人数之内不宜成者壱人も無御座候勿論書附之外村中 | | | | | |
| 二壱人も隠置不申候 | | | | | |
| 一、牛数 | 合六疋 | 男牛 | 右之分百姓より運賃出し申候 | | |
| 一、馬 | 壱疋 | 持主 | 一、種賃 夫食米 拝借金 無御座候 | | |
| 一、馬医 | | 与三左衛門 | 小出備前守様(出石藩主)御時代迄八種貸作食米御 | | |
| 但し、馬養生 | 二八宿南村利左衛門 | | 貸被遊候 | | |
| 牛養生 | 二八引野新左衛門呼申候 | | | | |
| 無御座候 | | | | | |
| 一、馬喰 | | | 一、当村ニ何市も立不申候 | | |
| 一、牢人 | | | 諸事売買之儀出石豊岡ニ而仕候 | | |
| 一、大工 | | | 出石江式里半 豊岡江式里 | | |
| 隣鄉 | 南北江 | 壱町半 | | | |
| 東八拾八丁ニテ大川向上郷村出石領豊岡入組 | | | | | |
| 西八八丁ニテ | 山本村縫殿様御領(旗本小出) | | | | |

| | |
|----------------------------|---------|
| 南ハ武丁ニテ | 伊福村、豊岡領 |
| 北ハ三丁ニテ | 土居村、出石領 |
| 一、他村より当村江出作 | |
| 高、四拾七石余 豊岡領上石村より式人 | |
| 出石領土居村より壱人 | |
| 一、稻毛 とちちこ 早稻 信□稻 | |
| 赤坂、白もちね、はや黒 | |
| 一、烟作毛 春作毛 大麦、小麦、麻 | |
| 夏作毛 粟、稗、大豆、小豆 | |
| 一、当村田畠種子 田壱反ニ付 粟七升位 | |
| 畠壱反ニ付大麦壱斗位 | |
| 小麦六升位 | |
| 大豆四升位 | |
| 小豆三升位 | |
| 麻五升位 | 馬*肥 |
| 一、田のこやし つのじ、げすこへ、はい、 | |
| 一、畠のこやし 同断、油かす、柴草 | |
| 一、田畠下作 上田壱反ニ付 壱石三斗 | |
| 中田壱反ニ付 壱石武斗 | |
| 下田壱反ニ付 壱石壱斗 | |
| 上々畠壱反ニ付 壱石 | |
| 上畠壱反ニ付 | |
| 九斗 | |
| 右下作不作之節ハ不足大分御座候 | |
| 一年季質地当村ニハ田畠壱反切ニハ不仕候 | |
| 只今迄ハ抱高不残又ハ三分一、半分などと申書人 凡 | |
| 拾石ニ付四百五百目、年切之義ハ相封ニ而五年切、三 | |
| 年切ニ仕候、然ル処、所ニ年払過キ流し申節ハ一も壳 | |
| 御年貢借方之前不足作食米懸り物など納□為致候得バ | |
| 大分被成候 | |
| 一、御伝馬之儀ハ何連之町へも出申義無御座候 定助大口 | |
| 之義無御座候 但し京都江被遣候得ば、駄賀被遣候 | |
| 一、女の稼 春夏ハ男同前、耕作第一ニ仕候 | |
| 冬ハ太布少し宛仕候 | |
| 一、男の稼 耕作之外ハ筵、繩、俵、こへ、薪第一ニ仕候 | |
| 冬太布少し宛仕候 | |
| 一、名主給 村高百石ニ付米三斗宛被遣候 | |
| 但し小出様御時代ハ出入下用と申右之外被遣候 | |
| 一、組頭給 | |
| 一、定使給 村百石ニ付壱斗五升宛被遣候 | |
| 一、御用ニ付江戸江名主參り候節ハ路銀時節相応ニ被下候 | |
| 但し備前守様（小出英安、延宝元（元禄五）御時節山 | |

| | |
|--|---------------------------------------|
| 出入ニ參り申候時ハ上下路銀壹人ニ武百目宛被下候 | 同村組頭 八兵衛 |
| 一、御檢見之義大見分ニ而御座候 惡作之節百姓より御願 | 同断 与三左衛門 |
| 申上候三而御座候 | |
| 一、樹 | |
| 一、百姓四壁 | |
| 一、山伏三人 | |
| 一、行人 | |
| 一、鐘扣 | |
| 一、こも僧 | |
| 一、道心 | |
| 一、座頭并 <small>ごぜ</small> | |
| 一、穢多 | 無御座候 |
| 一、僕儀師 | 無御座候 |
| 一、大荒 | 無御座候 |
| 拾貳石九斗八 | 無御座候 |
| 諸役不仕候 | 無御座候 |
| 以上 | 無御座候 |
| 右ハ當村今度御支配被成候ニ付御改被遊候。依之田畠反 別并浮役臨時物等其外御改之品々書上之通り少しも相違 無御座候。若隱置偽り申上候ハバ如何様之曲事ニも為被 仰付候 | 羽柴美濃守様御改之由承伝候へ共、御水帳無御座候故、反 別不奉存知候。 |
| 一、高 | 江戸陸道 |
| 内 | 百五拾五里 |
| 内 | 田畠 |
| 内 | 百八拾石四斗五升四合 |
| 内 | 無地 |
| 内 | 永荒 |
| 内 | 田畠毛付 |
| 内 | 田方 |
| 内 | 烟方 |
| 一、高 | 五百五升六合 |
| 宝永元年 | 申ノ御改 新発烟方 |
| 一、新田 | 無御座候 |
| 宝永三年戊八月八日 松岡村庄屋 九兵衛 | ④頃垣村 宝永三年（一七〇六） |
| 但馬国氣多郡比垣村指出帳 | 〔松岡、竹中嚴文書〕 |
| 宝永三年 戊八月 | |

| | |
|---|---|
| 一、土地 砂、じやり、かなげ土、黒ふく土、二而御座候 | 一、壠ヶ所御座候、年貢毎年武斗宛ニ仕、豊岡御領野村江 預ケ申候 |
| 一、当村 旱損水損共ニ御座候 | |
| 一、高ニ掛り物 夫米口米糠藁代之外無御座候 | |
| 一、在 懸り物之内高ヘ入候物 | 一、炭焼 |
| 一、魚鳥御運上 | 一、塩焼 |
| 一、萱野 | 一、沼 |
| 一、御林 | 一、字お池池 |
| 一、御竹藪 | 壠ヶ所 |
| 一、芝野 | |
| 一、御水帳 | 此反式畠程 |
| 一、桑 御座候二付 | 但此池より洪水出申、生野御領石井村、芝村、豊岡御領 十戸村、庄境村、野村、当村共ニ六ヶ村入組、田地用水 ニ而御座候 |
| 一、真綿三百四拾七匁五分御運上仕候、御免状ニ載 | 一、百姓より御運上申林 無御座候 |
| 一、楮漆 | 一、百姓持林六ヶ所 |
| 一、紙漉 | |
| 一、蚕 少々仕候 | |
| 一、薪 こえ草取場 | |
| 御中門谷と申山 当村之山ニ而御座候 | |
| 豊岡御領十戸村、同庄境村、両村江木草とらせ申候 | |
| 此義ハ古來之證文ニ委御座候 此山之内田畠之こえ草 取り申候 此山之内岩屋御座候 びしゃもんの官立 | |
| 式尺四面 当村より杉原播磨守様御領八代村山境迄拾 | |

| |
|--|
| 八町、山ノ宮老町半ほど東方□所 壴より内ニ岡田山 壠ヶ所御座候、年貢毎年武斗宛ニ仕、豊岡御領野村江 預ケ申候 |
| 内訳 |
| 北かへ山、高式拾間、横式町 |
| 栗木、小松、柴ニ而御座候 |
| 岩本山、 |
| 持主 庄兵衛 |
| 式拾五間、横拾五間 八郎兵衛 |
| 小松、ひろく木、柴木 |
| 忠左衛門 |

| | | | |
|-----------------|-----------------------------------|--------------|----------------|
| 持主 | 忠右衛門 | 山藪 | 柴山、高拾五間四方 壱ヶ所 |
| | 五兵衛 | 式ヶ所 | 村中 |
| とうげ山、高拾間、横拾五間、 | 栗木、柴、小松 | 此反 | 三畝廿一步程、但百姓持主武人 |
| 持主 | (七郎兵衛 半兵衛) | 一、永夫銭 | 無御座候 |
| 家うへ山、高拾六間、横廿五間、 | 栗、雜木、柴 | 一、永野銭 | 無御座候 |
| 持主 | (利右衛門 喜兵衛) | 一、六尺給 | 無御座候 |
| いゑのうへ山、高壹町、横壹町、 | 栗木、小松、くの木少々 | 一、米 壱石四斗八升六合 | 山 |
| 持主 | (彦左衛門 茂右衛門 平右衛門) | 一、米 九斗四升五合 | 茶代 |
| せどう□山、高壹町、横式町半 | 一、米 六升 | 一、銀 拾四匁 | 口役 |
| 栗木、柴山 | 一、闕所并井闕料 | 糠藁代 | |
| 持主 | (作十郎 小兵衛 彦左衛門 助作 助三郎) | 一、水門 | 無御座候 |
| せどう□山、高壹町、横式町半 | 当村川筋洪水之節 | 一、川除 | 無御座候 |
| | 御代々御扶持高米被為下 繕申候 | 一、溜池 | 自普請ニ仕候 |
| | | 一、用水堰 | |
| | | 一、拾式ヶ所 | 無御座候 |

| | |
|---------------------|----------------------------|
| 一、社取 | 屋敷 觀音堂屋敷之内ニ御座候 |
| 一、砂官 | 支配 村中より仕候 |
| 一、打敷指 | 無御座候 |
| 一、繪師 | 無御座候 |
| 一、御朱印寺社 | 無御座候 |
| 一、荒神宮 三尺四面 | 壱ヶ所 |
| 支配 村中より仕候 | 此屋敷壹畝拾武歩程地頭様御代々御除地 |
| 祭礼 九月廿八日近在より參詣仕候 | 村より北六町余、北比曾と申山ニ旧誌御座候 |
| 一、毘沙門小社 弐尺四方 | 壱ヶ所 |
| 但し 御中門谷、岩屋之内ニ御座候 | 一、鐘抄堂 壱ヶ所 |
| 支配 村中より仕候 | 此寺之義、三市糸書ニ御座候由及承候 |
| 祭礼 無御座候 | 村より北六町余、北比曾と申山ニ旧誌御座候 |
| 一、辻堂 弐間半四方 | 壱ヶ所 |
| 屋敷拾五歩程、御地頭様御代々御除地 | 觀音堂屋敷之内ニ御座候 |
| 支配 村中より仕候 | 一、切支丹類族 |
| 但し馬順札所之内 | 一、鐵炮 |
| 一、觀音堂 三間四面 | 一、鄉藏屋敷 壱畝 御地頭様御代々御年貢御赦免 但し |
| 屋舗 八畝弐拾壹歩御地頭様御代々御除地 | 藏ハ無御座候 |
| 支配 村中より仕候 | 一、陣屋々敷 |
| 六月十八日近在より參詣仕候 | 無御座候 |
| 一、鎮守 式尺四方 | 一、酒屋 |
| 伊賀守様御代ニハ 無御座候 | 無御座候 |
| 一、他村より当村江出作之者、無御座候 | 一、御年貢米之義、江原村川岸弐里陸道持出し、舟ニ而出 |
| | 石御藏ニ納申候、此舟道四里（尤、米払底之所ニ而、 |
| | 壹歩五厘方位米納、八分五厘方位銀納奉差上來り申 |
| | 候） |
| 一、種貸米夫食米拝借金 | 小出玄蕃様御代ニハ御借被為下候 |

- 年貢長短高下御座候、其上段々ニ借流申候ニ付、流申
候節ハ大分ニ罷成申候
- 一、当村之儀市場ニ而 無御座候
但し宵田村江原村豊岡江罷出賣仕候。宵田村、江
原村江武里、豊岡江四里、
- 一、当村東西江壱町 南北江壱町半
- 東方 杉原播磨守様御領分八代村迄壱里
隣鄉西八 生野御領石井村へ四町
- 南方 京極甲斐守様御領十戸村へ六丁
北方 御領内山宮村へ九丁半
- 一、稻毛種 北国、ゑびで、こむそう、とろいせ、もち
ね、作り申候
- 一、畑作毛 大麦、小麦少々、作り申候
- 大豆、小豆、稗、作り申候
- 一、当村田畠種子 田、五拾束代、糲七升宛
但し畠之義ハ反畠知レ不申候故種子當しれ不申候
- 一、烟之義ハ畠積り知レ不申仕付、物相応ニ仕候
- 一、田のこやし、草こそゑ、げすこヘ 仕候
- 一、烟のこやしも右同断
- 一、小作入上、田上所 五拾束代ニ米壱石
同下所 同 米七斗
- 一、烟之義 上所 五拾代 大豆四斗
下所 二同 式斗五升
- 一、質地之義、高拾石ニ銀五百目借申、相対ニ而、銀高、
- 一、男稼 耕作之間草木取り申候
一、女稼 夏ハ畠の草取り
冬ハ布少々仕候
- 一、名主給 百石ニ付米三斗
- 一、組頭給 繩之内ハ繩ない俵共あみ申候
- 一、定使給 百石ニ付米壱斗五升
- 一、御用ニ而 名主江戸江參候義、只今迄
- 一、組頭百姓之義 右同断
- 一、御檢見之義 只今迄ハ大檢見ニ而御座候 惡年ニハ
惡作書付ヲ以御檢分請申候
- 一、樹木 柿、梨子、少々 御座候
- 一、百姓 四壁 檻、けやき 御座候
- 一、山伏 行人 鐘扣無御座候
- 一、虚無僧 無御座候
- 一、道心 無御座候

| | | | |
|--|--|--|---|
| 一、座頭并ござ 一、穢多 一、傀儡師 | 無御座候 無御座候 無御座候 | 右者 当村今度御支配ニ罷成候ニ付 御改 之田畠反別并浮役臨時物等其外御改之品々 少茂相違無御座候、若隠置偽申上候ハ如何様之曲事ニ茂 可被仰付候 以上 | 被遊候 依 書上申候通 書上申候通 被遊候 依 依 |
| 宝永三年（一七〇六）戊八月 比垣庄村屋 忠左衛門 同村年寄 彦左衛門 同断 勘五郎 御奉行様 | 高百七石五斗八升 高三拾貳石貳斗四升五合 烟方 高四斗八升 御水帳不被下候 新発田 | 〔頃垣、西村勉文書〕 此長面無御座候故 寛政十年午正月ニ写取置申候 一、当村 一、土地 田ハ黒ふく野土と、山土、白砂入ニ而御座候 烟ハ黒ふく野土、山ごみと申土ニ而御座候 旱損所ニ而御座候ニ付年ニより五拾石六拾石 宛御免ニ被為下候 或ハ年ニより御年貢皆無 二被為成候こと毎度御座候 | 内 但羽柴美濃守様御檢地之由承伝候へ共 御水帳無御 座候故 反別石盛不奉存候 |
| ⑤柄本村 宝永三年（一七〇六） 宝永三年 戊、八月十三日 但馬国氣多郡柄本村差出し帳 扣 <small>タク</small> | 一、懸り物高ニ入候物 一、高ニ掛り候物、夫米、口米、糠糞代之外 一、魚鳥運上 一、萱場 一、荏 少し茂 | 一、當 一、御林 一、御林 一、御竹藪 同断 | 一、高百三拾九石八斗弐升五合 但羽柴美濃守様御檢地之由承伝候へ共 御水帳無御 座候故 反別石盛不奉存候 |
| 但馬国氣多郡柄本村 江戸へ陸道 百五十七里 船道川岸陸道不奉存候 | 無御座候 無御座候 無御座候 無御座候 無御座候 無御座候 同断 | 一、當 一、御林 一、御林 一、御竹藪 同断 | 一、高百三拾九石八斗弐升五合 但羽柴美濃守様御檢地之由承伝候へ共 御水帳無御 座候故 反別石盛不奉存候 |

| | | | | |
|---------|--|--|------------------------------|------------------------------|
| 町四拾間 | 南ハ八反瀧より北ハちがら川迄五丁拾間御 座候 | 当村之柴野ニ而 御年貢成之烟方御座候 其外 田畠之こえ草刈牛飼場所ニ而 山手之内ニ而米式斗九 合御運上仕候 | 高塚山 | 横三丁廿間高壹丁拾間 雜木、栗の木、小ざ 其外草山 |
| 横山 | 一、御水帳 | 無御座候 | 尾谷山 | 横壹丁程高四拾間 親木、栗の木其外草山 |
| 野林 | 一、桑木 少々 御座候ニ付、真綿四百五拾八匁御運上仕 候、但御免状ニ載 | 無御座候 | 持主五人 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 人 | 一、楮 少し茂 | 無御座候 | 寺谷山 | 横武丁程高五拾間 雜木、栗ノ木、柴草山 |
| 内 | 一、漆 小木 少々御座候 | 持主与右衛門 | 持主八人 | 柴草山 持主九人 |
| 中野山 | 一、紙漉 | 無御座候 | 柴草山 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 人 | 一、薪取場 百姓持林之外 | 無御座候 | 柴草山 | 持主九人 |
| 野林 | 一、炭焼 | 無御座候 | 寺谷山 | 横武丁程高五拾間 雜木、栗ノ木、柴草山 |
| 人 | 一、塩焼 | 同断 | 持主八人 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 沼池 | 一、沼池 | 同断 | 柴草山 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 百姓持林 | 一、百姓より御運上差上ヶ由林 無御座候 | 柴草山、岩井谷、かうが、柴原、岩倉と申所ニ御座候へ共 山中悪田故此分ニ而たり不申候ニ付 杉原播磨守様御領田 ノ口村へ米七斗五升宛毎年相立テ草山と備前がなると申所 ニ萱場と預り柴草萱かり取申候 | 持主八人 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 七ヶ所 | 一、百姓持林 | 同断 | 柴草山 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 内 | 一、百姓より御運上差上ヶ由林 無御座候 | 柴草山、岩井谷、かうが、柴原、岩倉と申所ニ御座候へ共 山中悪田故此分ニ而たり不申候ニ付 杉原播磨守様御領田 ノ口村へ米七斗五升宛毎年相立テ草山と備前がなると申所 ニ萱場と預り柴草萱かり取申候 | 持主八人 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 豎壱丁横四拾間 | 雜木栗木其外柴山 持主三 | 一、夫米 御物成 百石ニ付米七石五斗、但御免状ニ載 | 柴草山 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 人 | 右ハ小出玄蕃様御代ニハ無御座候 御藏地之節茂自前 ニ而御座候 松平伊賀守様御領ニ罷成夫米被仰付候、 | 一、夫米 御物成 百石ニ付米七石五斗、但御免状ニ載 | 柴草山 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 豎式丁横式拾間 | 柴刈不候其外草山 持主六 | 大豆之夫米、米ニ而御取被成迷惑仕候 | 柴草山 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 |
| 人 | 一、口米 御物成 百石ニ付米大豆共ニ三石、 但、御免状ニ不載 | 柴草山 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 | |
| 横山 | 横式丁拾間高四拾間 栗、ほうその木、小竹、 | 柴草山 | 横武丁程高五拾間 栗ノ木、ほうその木其外 其外草山 | |

| | | |
|-------------------------|------|----------------------------|
| 一、他村より当村へ出作之者 | 無御座候 | 一、田畠のこやし 柴草 馬屋こえ、げすこえ 仕候 |
| 一、当村之義市場ニ而 | 無御座候 | 一、麦作仕候節とこのうじ少々買こえニ仕候 |
| 但、売買物、出石、豊岡、宵田、江原へ參、調申 | | 一、田畠小作入上 |
| 候 出石へ五里半、豊岡四里半、宵田江原へ式里半 | | 上田と相見へ申所五十束代壹反二付 |
| 一、当村東西式丁南北壹丁 | | 中畑と相見へ申候所凡壹反程之場 大豆三斗 |
| 隣郷 | | 一、年季質地之義上中下下々田 大躰平均高拾石ニ銀五百 |
| 東方 石井村へ八丁 生野御領 | | 目宛程ニ書入申候、其内相對ニ而年季之長短銀子之高 |
| 西方 名色村へ拾五丁 出石御領 | | 下 御座候 |
| 南方 田ノ口村へ拾六丁 杉原播磨守様御知行所 | | 一、当村何町へも御伝馬出不申候 定助大助無御座候 |
| 北方 山ノ宮村へ七丁 出石御領 | | 一、女稼 夏ハ烟之草取、少々かいこ仕候 雪之内ハ布少 |
| 一、稻毛 白わせ、白北国、生野、ひやけ、京白 | | タづつ仕候 |
| 春ハ大麦小麦少し作仕候へ共所ニ而不作仕候 | | 一、男稼 耕作之間ニ木草取仕候 雪之内ハ繩俵草筵其外 |
| 夏ハ粟稗大豆小豆蕎麦里いも少々作仕候 | | 作之用置仕候 |
| 一、当村田畠種子入候こと | | 一、名主給 百石ニ付米三斗 被為下候 |
| 田五拾束代ニ 粽 七升位 | | 一、組頭給 無御座候 |
| 畠壹反程ニ 大豆六升位 | | 一、定使給 百石ニ付壹斗五升被為下候 |
| 小豆五升位 | | 一、御用ニ而名主江戸へ罷越候義 只今迄ハ無御座候 |
| 稗 武升位 | | 一、組頭并百姓江戸へ被遣候義 只今迄ハ無御座候 |
| 一、樹木ニなしの木少々 御座候 | | 一、御檢見之義、大檢見ニ而御座候 惡年ニハ百姓より損 |
| 毛書付を以御檢分被為成候 | | 毛書付を以御檢分被為成候 |
| 一、百姓 四壁 横木 桜之木少々 御座候 | | |

一、山伏 壱人 御座候 持福院

右けさ本ハ阿瀬村玄養院と申仁ニ而御座候 宗門判形

之義ハ御領内宮内村般若院被成被下候

一、行人

一、鐘扣

一、こも僧

一、道心 壱人 御座候 正伝

右当村妙榮寺ニ而かみをそり申候 無御座候

一、座頭并ニゴゼ 無御座候

一、穢多 無御座候

一、傀儡師 無御座候

右者当村今度御支配ニ罷成候ニ付 御改被為遊候 依之田

畠反別并ニ浮役臨時物等其外 御改之品々書上げ申候通少

茂相違無御座候 若隠置 偽り申上げ候ハバ如何様之曲事

ニ茂可被仰付候 以上

宝永三年 栃木村庄屋 清左衛門

戌ノ八月 年寄 又右衛門

年寄 孫右衛門

御奉行様

右書面上石村より吟味之上ニ而書上げ申候 以来

百姓迄 此通相違無之と御心得可有候 未々

右書面上石村より吟味之上ニ而書上げ申候 以来

百姓迄 此通相違無之と御心得可有候 以上

〔栃木区文書〕

⑥浅倉村 宝永三年（一七〇六）

宝永三年

但馬国養父郡浅倉村指出帳

戌

江戸へ 陸道

百五十里と申候 舟道 不奉存候

但馬国養父郡浅倉村

江戸へ 陸道

百五十里と申候 舟道 不奉存候

一、百七拾三石五斗弐升六合

但寛文拾三年（一六七三）丑ノ歳御地改出高

二口合 三百六石四斗弐升六合 浅倉村

一、百三拾貳石九斗

内

壹石壹斗八升三合 庄屋屋敷除地内ニ郷藏有

此反別九畝三步 寛文十三年之御検地ニ水帳ニ取

不申候

五斗七升三合 麻烟盛御用捨故反別無御座

候

拾八石三斗四升六合 永荒川成山口土手下

道口

残、弐百八拾六石三斗弐升四合 田烟毛口

残、弐百八拾六石三斗弐升四合 田烟毛口

此反別

上田 五町五反壱畝拾弐歩 壱反二付壱石三斗

外ニ壱反弐畝拾弐歩 永荒川成

此分米、壱石六斗壱升弐合

外ニ六畝六步 本田畑ニ成申候

此分米、八斗六合

□田 壱町四反六歩 壱反ニ付壱石弐斗

此分米、百弐拾壱石四斗九升三合

外ニ壱町五反弐畝拾八歩 永荒川成

此分米、拾石五斗壱升八合

屋敷 三反三畝弐拾壱歩 壱反ニ付壱石三斗

此分米、四石三斗八升壱合

外ニ九畝三歩 庄屋屋舗除地

此分米、壱石壱斗八升三合

麻畑 壱反九畝三歩 壱反ニ付壱石

此分米、壱石九斗壱升

外ニ九畝三歩 壱反ニ付壱石

此分米、壱石九斗壱升

惣田烟屋舗麻合、弐拾九町八反六畝弐拾四歩

高合、弐百八拾六石三斗弐升四合 有反

外ニ弐町弐反五畝弐拾一步

此分米 弐拾石壱斗弐合

永荒川成庄や屋舗麻畠盛御用捨之分

高、三石九斗七升四合 新開田畑

此反別 四反七畝拾五分

夫米 壱石ニ付 七升五合

口米 壱石ニ付 三升

荒畑 弐反七畝之所

是ハ岩中村惣田村日置村三ヶ村之論場ニ而御座候故、御公儀様より庄屋茂右衛門ニ御預ケ被成□□

郷藏 庄屋屋舗之内ニ御座候

一、米 壱石九升五合 山手年貢

一、米 六斗六升 茶代

一、米 弐斗四升九合 楢役

一、小豆五斗五升四合 荘畑

一、粟壱石七斗七升五合

一、真綿四百九拾五匁壱分 桑代

一、銀三拾匁六分 川役

一、銀弐拾五匁三厘 糜藁代

一、野土山土石地砂地ニ而御座候

一、当村、欠谷水故ニ水損旱、年毎ニ御座候

| | | | |
|---|---------------------|-----------|------------------------|
| 一、大豆高之懸り物 | 無御座候 | 一、炭焼 | 無御座候 |
| 一、荏高と申儀茂 | 無御座候 | 一、塩焼 | 無御座候 |
| 一、懸り物之内高へ入物も無御座候 | 無御座候 | 一、沼地 | 無御座候 |
| 一、魚鳥運上 | 無御座候 | 一、運上林 | 無御座候 |
| 但、川役、前二書上申候 | 但、栗・ひろく・くの木ニ而御座候 | 一、百姓林 | 此反拾五丁余百姓式拾八人持 |
| 一、萱野 | 無御座候 | 八ヶ所 | 但、野錢 |
| 一、御林 | 無御座候 | 柴山 | 百石ニ付七石五斗づつ上納仕候 |
| 一、芝野 | 無御座候 | 草山ニ御座候 | 一、夫米御物成 |
| 一、御竹藪 | 無御座候 | 夫錢 | 一、口米御物成 |
| 一、御水帳 | 無御座候 | 無御座候 | 一、夫錢 |
| 但、三拾四年以前丑ノ年七月（寛文十三年、一六七 三）ニ小出備前守様御檢地 | 但、野錢 | 一、閑 小閑九ヶ所 | 一、夫米御物成 |
| 棹手 | 無御座候 | 杭屋らい石土之井瀬 | 一、口米御物成 |
| 村主□右衛門 | 無御座候 | 井料米、壱石五合 | 百石ニ付三石づつ上納仕候 |
| 木村半右衛門 | 無御座候 | 被下來候 | 但、野錢 |
| 市川権太夫 | 無御座候 | 一、水門 | 一、水門 |
| 木嶋十郎兵衛 | 無御座候 | 一、川除 | 一、水門 |
| 一、漆 | 無御座候 | 一、溜池 | 一、水門 |
| 但、桑・楮運上、前二書上申候 | 無御座候 | 一、用水堰 | 一、水門 |
| 一、紙漉 | 無御座候 | 八ヶ所 | 一、水門 |
| 一、かいこ | 少しづつ仕候 | 此井料 壱石五合 | 杭屋らい、石芝之井瀬、自普請 被下來候 |
| 一、薪取場 | 少し御座候 百姓持山之内ニ而かり取申候 | 無御座候 | 一、水桶 |
| 一、海 | 無御座候 | 武ヶ所 | 一、橋 |
| 一、獵船 | 無御座候 | | 一、橋 |
| 小船壹艘 | | | |

| | | | |
|--------------------|--------|---------------|-------|
| 一、渡船 | 無御座候 | 一、木挽 | 壺人 |
| 一、家數合 | 七拾弐軒 | 内、三拾八軒 | 百姓 |
| 一、屋敷五拾ヶ所 | 家六拾六軒 | 四拾軒 | 水呑 |
| 但、簸三而御座候 | 屋敷七ヶ所 | | |
| 一、野烟屋敷 | 弐軒 | | |
| 但、簸御年貢地 | 此反三畝余 | 但し渡り細工仕候者參不申候 | 庄五郎 |
| 一、田屋敷 | 四軒 | 但、兵治大明神 | 無御座候 |
| 但、簸式軒ハ御年貢地 | 此反三畝余 | 但、繪師 | 無御座候 |
| 簸合拾壹ヶ所 | 烟田之内 | 但、御朱印寺船 | 無御座候 |
| 一、人數合 | 三百六拾九人 | 一、宮地 | 除地 |
| 内、百九拾四人 | 男 | 但、山王 | 屋敷弐反歩 |
| 百七拾五人 | 女 | 但、觀音堂 | 屋敷六步 |
| 右之人數之内二不宜もの壺人も無御座候 | 勿論書付之 | 但、神明 | 屋敷六步 |
| 外村中壺人も隱置不申候 | | 但各西礼六月晦日 | 屋敷六步 |
| 一、牛數合 | 拾八疋 | 但、荒神 | 屋敷六步 |
| 内、九疋 | 男牛 | 但、馬ハ無御座候 | 除地 |
| 九疋 | 女牛 | 但、宮田畠無御座候 | |
| 但、馬医壺人 | 太郎右衛門 | 一、觀音堂 | 式間半四方 |
| 但、馬喰 | 無御座候 | 但、屋敷壺畝步 | 壺ヶ所 |
| 一、牢人 | 無御座候 | 村中支配 | |
| 一、大工 | 無御座候 | 寺 | |
| | | 一、幾利支丹類族 | |

余

| | |
|--------------------------|----------------------|
| 一、当村より西へ武拾壱丁 | 久斗村界迄 |
| 東へ八丁 | 赤崎村札之辻迄 |
| 南へ武拾武丁 | 宿南村札之辻迄 |
| 北へ七丁 | 岩中村札之辻迄 |
| 一、稻毛 | ところ、よりたし、あかさか、くまのもちね |
| 一、畑作毛 | 春作 大麦・小麦 |
| 一、田畠種子 | 夏作 大豆・粟・稗・胡麻 |
| 一、田壱反ニ付 | 糲 壱斗壱升位 |
| 一、畑反ニ付 | 大豆 四升位 |
| 麦 壱斗位 | |
| 小麦 七升位 | |
| 一、田のこやし | 第一つのじ、山草、まやごへ |
| 一、畑のこやし | 第一つのじ、下すこへ、まやこへ |
| 一、田畠小作入上げ | |
| 上田 壱反ニ付 | 壹石四斗 |
| 中田 壱反ニ付 | 壹石貳斗 |
| 下田 壱反ニ付 | 壹石 |
| 上畑 壱反ニ付 | 八斗 |
| 中畑 壱反ニ付 | 五斗 |
| 下畑 壱反ニ付 | 三斗 |
| 下々畑 壱反ニ付 | 貳斗 |
| 一、當村之儀 何市も 無御座候 | |
| 但、當村之儀、宵田村へ罷出買完仕候宵田村へ八丁 | |
| 一、年季質地 | |
| 右ハ百姓より運賃出し來り候 | |
| 一、種貸夫食米押借金 只今ハ無御座候 | |
| 一、他村より當村へ出作の者 無御座候 | |
| 一、當村之儀 何市も 無御座候 | |
| 但し、當村之儀、宵田村へ罷出買完仕候宵田村へ八丁 | |
| 一、酒屋 | 無御座候 |
| 一、御年貢之儀 | 岩中村川岸へ七丁 |
| 出石へ陸道 | 三里 |
| 舟道 四里半 | 運賃 米 |
| 伏村 陸道 式里 | |
| 舟道 式里 運賃 米 | |

| | | |
|----------------------|------------------|---------|
| 十年切 | 一、行人 | 壱人も無御座候 |
| 五年切 | 一、鐘扣 | 壱人も無御座候 |
| 三年切 | 一、こも僧 | 壱人も無御座候 |
| | 一、道心 | 壱人も無御座候 |
| 上畠 | 中田 壱反ニ付 | 百四、五拾匁 |
| | 下田 壱反ニ付 | 百武、三拾匁 |
| | 上畠 壱反ニ付 | 八、九拾匁 |
| | 中畠 壱反ニ付 | 六、七拾匁 |
| | 下畠 質ニ取不申候 | 四、五拾匁 |
| 一、女の稼 | 布、木綿ニ而御座候 | |
| 一、男 | 耕作、外ニハ繩、筵、薪ニ而御座候 | |
| 一、庄屋給 | 高百石ニ付、三斗ニ而御座候 | |
| 一、年寄 | 同断 | 無御座候 |
| 一、百姓 | 同断 | |
| 一、御檢見之義只今迄大檢見 | | |
| 但、小出備前守様御代ニ御檢見之事も御座候 | | |
| 一、樹木八栗、柿、梨ニ而御座候 | | |
| 一、四壁 藪、榎ニ而御座候 | | |
| 一、山伏 | | |
| 壱人も無御座候 | | |

| | | |
|--|-------------|-----------------|
| 〔但馬国氣多郡椒村 差出帳〕 | 〔浅倉、秋山忠治文書〕 | ⑦ 椒村 宝永三年（一七〇六） |
| 右八当村今度御支配ニ罷成候ニ付御改被遊候。依之田 烟反別并浮役臨時物等其外御改之品々書上げ申候通少 茂相違無御座候 若隱置偽り申上候ハバ如何様之曲事 ニ茂可被仰付候 以上 | | |
| 宝永三年（一七〇六）戊 | 浅倉村庄屋 | 茂右衛門 |
| | 年寄 | 久兵衛 |
| | 同断 | 善左衛門 |
| 御奉行様 | | |
| | | |

但馬国氣多郡椒村 江戸へ陸道舟道不奉存候

| | | | |
|------------------------|------------|---------------------------|----------------|
| 一、高百三拾六石五斗三升 | 外ニ出高ハ 無御座候 | 一、桑褚共 | 御座候 |
| 何町何反何畠と申儀ハ帳面無御座候故知不申候 | | 一、漆八 | 無御座候 |
| 上田 | | 一、紙漉 | 御座候 |
| 中田 | 石盛 右同断 | 一、かいこ | 仕候 |
| 下田 | 九斗盛 右同断 | 一、薪取場 | 御座候 |
| 下々田 | 八斗盛 右同断 | 一、炭焼 | 但、鍛治炭ハ燒申候 無御座候 |
| | 六斗盛 右同断 | 一、塩燒 | 無御座候 |
| | | 一、沼池 | 無御座候 |
| 一、大豆ハ 煙知不申候ニ付拾歩二宛上納仕来候 | | 一、百姓より御運上差上候林ハ 無御座候 | |
| 一、新田ハ 無御座候 | | 一、百姓持林 拾七ヶ所 | 御座候 |
| 一、土地 黒土、石地ニ而 | 御座候 | 一、但栗、ほうそ、して、ぶな、柴木御座候 | |
| 一、当村 水損旱損之儀年ニより御座候 | | 一、おく田尾一ヶ所 尾迄三十間横十五間、廿間御座候 | |
| 一、掛り物、大豆高ニ夫口より外ハ無御座候 | | 一、同村持主 四郎左衛門 | |
| 一、荏ハ 懸り物糠糞芝等より外ハ 無御座候 | | 一、但栗、ほうそ、柴木、御座候 | |
| 一、大隅守様御代ニハ無御座候へ共 | | 一、れんげ尾一ヶ所 尾迄十五間横二十間 | |
| 伊賀守様御代ニ成、被仰付申候 | | 一、同村持主 四郎左衛門 | |
| 一、魚鳥之御運上 | 無御座候 | 一、但栗、小松、柴木、御座候 | |
| 一、萱野ハ 無御座候 | | 一、いえのうへ一ヶ所 尾迄七十間横十五間 | |
| 一、御林ハ 無御座候 | | 一、床瀬村持主 与右衛門 | |
| 一、御竹敷ハ 無御座候 | | | |
| 一、御水帳 無御座候 | | | |

| | |
|---------------------------|----------------|
| 一、桑褚共 | 御座候 |
| 一、漆八 | 無御座候 |
| 一、紙漉 | 御座候 |
| 一、かいこ | 仕候 |
| 一、薪取場 | 御座候 |
| 一、炭焼 | 但、鍛治炭ハ燒申候 無御座候 |
| 一、塩燒 | 無御座候 |
| 一、沼池 | 無御座候 |
| 一、百姓より御運上差上候林ハ 無御座候 | |
| 一、百姓持林 拾七ヶ所 | 御座候 |
| 一、但栗、ほうそ、して、ぶな、柴木御座候 | |
| 一、おく田尾一ヶ所 尾迄三十間横十五間、廿間御座候 | |
| 一、同村持主 四郎左衛門 | |
| 一、但栗、ほうそ、柴木、御座候 | |
| 一、れんげ尾一ヶ所 尾迄十五間横二十間 | |
| 一、同村持主 四郎左衛門 | |
| 一、但栗、小松、柴木、御座候 | |
| 一、いえのうへ一ヶ所 尾迄七十間横十五間 | |
| 一、床瀬村持主 与右衛門 | |

但、栗、ほうそ、柴木、御座候
けんきや谷一ヶ所 尾迄八十間横三十間

但、小杉、柴木、かりほし仕候
いゑのうへ一ヶ所 尾迄百間横廿間

但、栗、ほうそ、椎木、柴木御座候
むかい山一ヶ所 尾迄二町半横二十間又ハ五間、十間、十五間も御座候

但、栗、ほうそ、ぶな、して、柴木、御座候
たくのうへ一ヶ所 尾迄二町横三十間、五十間も、御座候

但、栗、ほうそ、小松、柴木、御座候
つきよ□□□ 一ヶ所 尾迄三十間横十間

同村持主 玄太夫

但、くり、ほうそ、しいの木、柴多御座候
郷中一ヶ所 尾迄六十間横廿間

但、栗、ほうそ、柴多 御座候
いゑのうへ 一ヶ所 尾迄二町横三十間又ハ五十五間、十間

下村持主 五郎左衛門

但、栗、小松、ほうそ、ぶな、して、柴木、御座候
いゑのうへ 一ヶ所 尾迄一町横廿間

同村持主 六兵衛

中村持主 谷右衛門

舟はら一ヶ所 尾迄五十間横十間、十五間

但、栗、ほうそ、ぶな、して、柴多御座候
舟はら一ヶ所 尾迄十五間横廿間

但し、ほうそ、柴木、多御座候
舟はら一ヶ所 尾迄廿間横十五間

但、ほうそ 雜木、柴木山

但、柴山ニ而御座候
一ヶ所 立五十間横四十間

但、柴木山ニ而御座候
但、柴山ニ而御座候

銅山村持主 弥三兵衛

持主 同人

不奉存候

一、永錢之儀

一、夫米 本米百石ニ付 壱石五斗宛御取被成候
但、大隅守様御代ニハ夫米御座不被遊候得ども伊賀
守様より如此御座被成候

一、口米之儀 本米百石ニ付 三石宛御取被成候

右同断

一、永野錢ハ

一、惣而御運上之儀 御免状之外ハ無御座候

不奉存候

第三部 近世

| | |
|---------------------------|------------------------|
| 一、関所 | 右之内ニ拝殿三間半ニ式間之一軒□□鳥居より宮 |
| 一、水門 | 入口迄一町四十間此間ニ通り門御座候 |
| 一、川除ハ百姓自普請ニ仕候 | 但屋敷西東十五間、北南六間半 |
| 小出大隅守様御代之御扶持米一人ニ一斗づつ被下米來候 | 此二社麓廻り十三町 |
| 一、溜池 | 但、神田ハ天王之前ニ御座候 |
| 一、用水堰 | 右ハ高之外ニ而御座候 |
| 一、水樋 | 一、八社荒神一ヶ所 |
| 二ヶ所 | 但屋敷十間ニ六間 |
| 一、橋數 | 社三尺四方 |
| 七ヶ所 | 山之高、五拾間、横五十五間御座候 |
| 一ヶ所 | 一、神明之森社ハ無御座候、屋敷外ニテ御座候 |
| 此橋ハ大隅守様御代ニ土橋ニ被仰付候も、入 | 但森八間ニ四間御座候 |
| 一ヶ所 | 一、堂一ヶ所阿弥陀床瀬村 |
| 此橋ハ大隅守様御代ニ土橋ニ被仰付候も、入 | 但一間四方、屋敷長五間、横三間 |
| 一ヶ所 | 一、堂一ヶ所觀音同村 |
| 丸木橋、長五間御座候往還 | 但二間四方屋敷二間半ニ四間 |
| 一ヶ所 | 一、堂一ヶ所觀音中村 |
| 丸木橋、四間半御座候 | 但二間四方屋敷四間四方 |
| 一ヶ所 | 一、堂一ヶ所地藏下村 |
| 一、川運上 | 但一間半四方屋敷一間半四方 |
| 一、海運上 | 但二間四方屋敷四間四方 |
| 一、猶船 | 但二間四方屋敷五間ニ横三間 |
| 一、八幡宮 | 但二間四方屋敷五間ニ横三間 |
| 神子同郡土井村より來、神樂仕候 | 但二間四方屋敷五間ニ横三間 |
| 但屋敷東西十八間北南七間 | 但二間四方屋敷五間ニ横三間 |

| | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-------|
| 右九ヶ所之官、堂、地代ハ高外ニ而 御地頭様より何共不 被仰付候 | 一、打敷指 | 無御座候 |
| 御地頭様より代々御除地ニテ御座候 | 一、御朱印寺社 | 無御座候 |
| 一、家数合 八十一軒 御座候 | 一、寺 | 無御座候 |
| 一、人数合 五百八十八人 | 一、切支丹類族 | 無御座候 |
| 内、二百九十八人 男 | 一、鐵炮一挺 玉目三匁八分 | 六兵衛 |
| 二百九十八人 女 | 一、鐵炮一挺 玉目三匁五分 | 床瀬村持主 |
| 一、牛數合 五十九疋 | 一、鐵炮一挺 玉目三匁二分 | 中村持主 |
| 内、二十五疋 男牛 | 一、鐵炮一挺 玉目三匁五分 | 五郎兵衛 |
| 三十四疋 女牛 | 一、鐵炮一挺 玉目三匁五分 | 下村持主 |
| 一、馬ハ 無御座候 | 一、鐵炮一挺 玉目三匁二分 | 五郎左衛門 |
| 一、牛医 無御座候 | 一、鐵炮一挺 玉目三匁五分 | 銅山村持主 |
| 牛之煩之節ハ豊岡御領内城崎郡庄村より穢多呼 生仕候 | 右ハ御代々為獵師、壱挺宛所持仕候 | 六郎左衛門 |
| 一、馬喰 無御座候 | 一、鄉藏二軒 中村 | |
| 一、牢人 無御座候 | 下村 | |
| 一、大工 加兵衛と申御座候 | 右ハ庄屋之屋敷内ニ御座候 | |
| 一、木挽 長右衛門と申御座候 | 長二間、横一間半、但かやふき也 | |
| 一、桶大工 無御座候 | 一、陣屋 | 無御座候 |
| 一、鍛治 納仕来候 | 一、獵師 | 無御座候 |
| 一、杣取 一、酒屋 | 一、御年貢米儀他所へ少も出し不申毎年御直段を以銀子上 種貸米作食米 | 無御座候 |
| 一、砂官 無御座候 | 大隅守様御代々作食奉御貸被遊候へとも 御代ニ成御かし不被遊候 | 伊賀守様 |

- 一、他村より当村へ出作之者 無御座候
布仕候、十一月より三月迄ハ紙仕候、其間ニ
一、市場 無御座候
- 諸事賣仕候節ハ甲斐守様御領豊岡町へ三里余御座
候此所ニ参、諸色相調申候
- 一、稻毛種 ひめつるる、白北国、ひのわせ、ハコわせ、
かりはた、ばら□□、白黒、きづき、ひやけ、
あか坂、いせ、ごむそう、□□、
□□たまり、
- 一、烟作種毛
- 春作毛、大麦少々計、小麦少々計、大豆小豆、あわ、
ひゑ、いも、
- 一、当村田畠種 何程宛と申定り無御座候
- 一、田のこやし
くさをかり、人牛ノこやし、
- 炭ミ仕入申候
- 一、烟のこやし 右同断
- 一、田畠小作入上ハ 不仕候
- 一、年季質地相対ニ而長短相貸し申候、上、中、下、下々
共五十束刈ニ八十匁づつかり申候 相対ニて高下御座候
- 一、候
- 一、當村より何方へも御伝馬出し申儀無御座候
一、女稼ハ 三月より八月迄山畠へ參、草手仕候 其間ニ
- 一、男稼
- 耕作之間ニ木、草取、かたハラすみ焼 カセ
ぎ仕候、十一月より三月迄紙仕候、其外なわ、
たわら、仕候
- 一、名主給 無御座候
- 一、組頭給ハ 高ニ三歩被下候
- 一、定使給ハ 高ニ一歩五厘ニ御座候
- 一、御用ニ而名主江戸へ參候事無御座候
勿論 組頭百姓も右同断
- 一、御檢見之儀只今迄ハ大檢見ニ而御座候
- 一、樹木ニ柿少々宛 御座候
- 一、百姓四壁ニ こかし竹少々宛御座候
- 一、山伏
- 一、行人
- 一、鐘扣
- 一、こも僧
- 一、道心
- 一、座頭并ござ
- 一、穢多
- 一、佛龕師
- 一、床瀬村より
- 無御座候

大尾坂口迄三町十五間、日坂上り口より峠迄十五町二十間、此間ニ作場段々御座候

右之所ハ美含郡より氣多郡ノ往還ニ而御座候

柳ヶ成と申谷峠迄二十一町、山之手きわニ苅畠田御

座候而勧申候

つき谷と申谷峠迄二十町、此間ニ段々苅畠田御座候

一、中村より

桑谷と申谷へ廿五町、道筋苅畠田御座候

榎谷と申谷、苅畠田御場迄廿一町、道筋家なく山苅畠

勧場迄十三町

豊岡御領郡境迄二十七町、道筋西ノ方高山、峯切水

下り

一、下村より

家なく苅畠、勧場迄十五町

舟はら、峯苅畠田御場迄二十町

片すミ苅畠田御場迄峠切十七町美含郡境、

くま谷峯苅畠田御場迄二十五町

□□谷、峯苅畠田御場迄八町

一、銅山村より

豊岡御領境迄二十一町、往還道筋此間ニ□□山之

□□生野御捌之村御座候

先年より桟村之内ニ而氏神、八幡宮へ参り、薪、こ
やし、草ハ、桟村へ取来候

富ノきみと申谷、苅畠田御場迄八町、美含郡境峠切、

東谷と申谷、苅畠田御場迄十町

西谷と申谷、薪取場迄十町

美含郡境迄一町十八間

右者當村今度御支配と罷成候ニ付御改被遊候。依之田畠反
別并浮役臨時物等其外、御改之品々書上申候通少も相違無
御座候。若偽申上候ハバ、如何様之曲事ニも可被仰付候。

以上

宝永三年戊七月

床瀬村庄や 三郎左衛門

中村庄や 谷右衛門

下村庄や 五郎左衛門

銅山村庄や 弥三兵衛

御奉行様

〔竹野町、富森一雄文書〕

⑧海老原村 宝永三年（一七〇六）

宝永三年

但馬國氣多郡海老原村指出帳

成八月七日

| | |
|----------------|-----------------------------------|
| 但馬国氣多郡海老原村 | 分大豆 壱石五斗五升 |
| 江戸陸道 百六十里 | 内貳畠 庄屋屋敷御赦免御水帳ニ載、 |
| 海上并川岸道無御座候 | 分大豆貳斗貳升 |
| 一、高拾貳石七斗三升七合 | 石盛 八斗 |
| 此反別 | 下畑合 五畠六步 |
| 壱町壱反九歩 九反壱畠 田高 | 一、新田 分大豆 四斗壱升六合 無御座候 |
| 上田合 壱反九畠九歩 畑高 | 一、土地 野土赤土ニ而御座候 |
| 上田合 三反五畠六歩 | 一、当村 旱損御座候 |
| 分米 四石五斗七升六合 | 一、懸り物 田烟共ニ無御座候 |
| 石盛 壱石貳斗 | 一、懸り物 高ヘ入候物無御座候 |
| 中田合 壱反三畠貳拾壱歩 | 一、魚鳥運上 無御座候 |
| 分米 壱石六斗四升四合 | 一、萱野 御座候 長三町程、横貳町程 |
| 石盛 壱石壹斗 | 一、御林并御竹籜 無御座候 |
| 下田合 三反四畠三歩 | 一、芝野 無御座候 |
| 分米 三石七斗五升壱合 | 一、御水帳 一冊 |
| 石盛 壱石 | 拾三年以前元禄七年（一六九四）六月小出播磨守様 御檢地 |
| 下々田合 八畠 | 一、夫米 御物成壹石ニ付七升五合づつ上納仕候、但御免 帳ニ載 |
| 分米 八斗 | 一、口米 御物成壹石ニ付三升づつ御上納仕候 |
| 石盛 壱石壹斗 | 一、惣而運上類 無御座候 |
| 上畑合 壱反四畠三歩 | |

| | | | |
|----------------------------|---------|----------------------------|----------------------|
| 一、閥役所并井関料 | 無御座候 | 一、御朱印寺社 | 無御座候 |
| 一、水門 | 無御座候 | 一、荒神ノ宮地少々御座候。但社無御座、少々之森ニ而候 | 無御座候 |
| 一、川除 | 無御座候 | 一、堂塔并寺 | 無御座候 |
| 一、橋 | 無御座候 | 一、切支丹類族 | 無御座候 |
| 一、川海運上 | 無御座候 | 一、鉄炮所持之者 | 壱人も無御座候 |
| 一、溜池用水堰并水樋 | 無御座候 | 一、郷藏并陣屋敷 | 無御座候 |
| 一、獵船并渡舟 | 無御座候 | 一、獵師 | 無御座候 |
| 一、百姓惣家數 四軒 | 百姓 | 一、酒屋 | 無御座候 |
| 一、百姓惣家數 四軒 | 百姓 | 一、御年貢米之義每年銀納仕候 | 而シ御米出し申義、無御座候 |
| 一、烟屋敷 四軒 | 但籠無御座候 | 一、御年貢米之義每年銀納仕候 | 而シ御米出し申義、無御座候 |
| 一、屋敷 | 無御座候 | 一、種代、欠米、夫食米、拝借金、無御座候 | 一、種代、欠米、夫食米、拝借金、無御座候 |
| 一、人数 合 拾六人 内 九人 男 | 七人 女 | 一、他村より当村へ出作之者 弐人 | 一、他村より当村へ出作之者 弐人 |
| 一、牛數 弐疋 | 壹疋牛 | 妙見山吉兵衛、同村半右衛門 | 妙見山吉兵衛、同村半右衛門 |
| 但し馬ハ無御座候 | | 一、當村市場ニ而ハ | 無御座候 |
| 一、牛馬医 | 無御座候 | 一、當村 東西ヘ武拾間、南北ヘ拾間程 | 一、當村 東西ヘ武拾間、南北ヘ拾間程 |
| 牛相煩之節近所医無御座候 | 呼申義無御座候 | 一、隣鄉 妙見山、御朱印所 十五町程 | 一、隣鄉 妙見山、御朱印所 十五町程 |
| 一、馬喰并牢人 | 無御座候 | 日烟村、妙見御朱印地之下、八町程 | 日烟村、妙見御朱印地之下、八町程 |
| 一、大工、木挽、檜屋、鍛治、杣取、砂官、折敷、指物師 | 無御座候 | 觀音寺村、平岡四郎左衛門様御代官所 | 觀音寺村、平岡四郎左衛門様御代官所 |
| 田壱反ニ粗壱斗くら | | 一、稻毛 □□白、北国、ちと早稲、作仕候 | 一、稻毛 □□白、北国、ちと早稲、作仕候 |
| | | 一、烟作毛 大豆、粟、稗、作仕候 | 一、烟作毛 大豆、粟、稗、作仕候 |
| | | 一、当村田畠種子入之事 | 一、当村田畠種子入之事 |

- | | |
|----------------------------|---------|
| 一、田のこやし | 小豆武斗くらい |
| 一、烟のこやし | 粟八合くらい |
| 一、質地之義 極りたる義無御座候 | 稗壹升くらい |
| 相対ニ而長短高下御座候 | |
| 一、当村 御伝馬出申義無御座候 | |
| 一、女稼 烟之草取間、布少々仕候 | |
| 一、男稼 耕作之間、木取、秋ハ深山故猪猿あれ申候ニ付 | |
| 一、名主給 高拾石ニ付三升宛ニ被下候 | |
| 一、組頭給 無御座候 | |
| 一、定使給 高拾石ニ壹升五合宛ニ被下候 | |
| 一、御用にて名主江戸へ参候義只今迄ハ無御座候 | |
| 一、組頭并百姓 右同断 | |
| 一、御檢見之義御奉行方當村へ御越被成タル義 | |
| 一、百姓四壁之竹木 無御座候 | |
| 一、樹木 無御座候 | |
| 一、当村之義 先規より諸役無御座候 | |

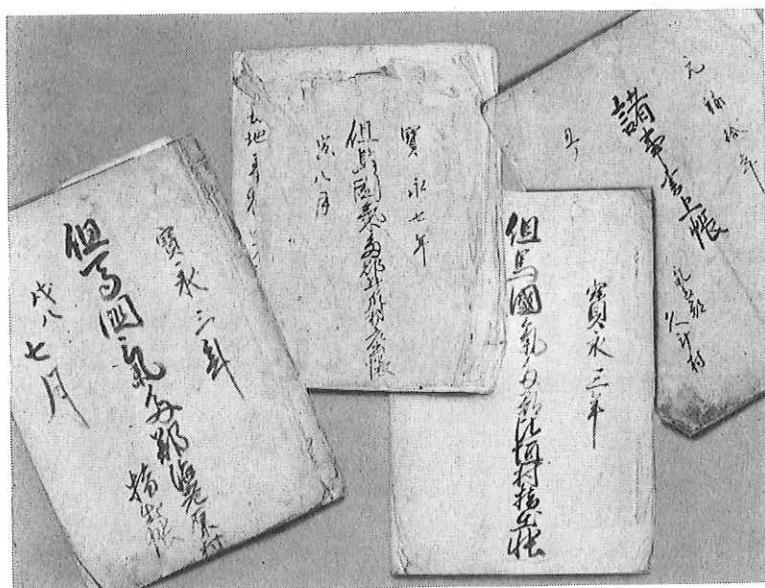


写真187 久斗、比垣、猪爪、海老原村指出帳

一、山伏、行人、鐘扣、こも僧、道心、座頭并ごぜ、穢
多、傀儡師、右袴人も無御座候
右者當村今度御支配ニ罷成ニ付御改被遊候。依之田畠反
別其外御改之品々書上申候通少しも相違無御座候。若隱
置偽申上候者、如何様之曲事ニも可被仰付候。以上

宝永三年（一七〇六）

戊八月七日

海老原庄村屋 半三郎

同村年寄 喜右衛門

御奉行様

役人山本治兵衛殿 西村茂左衛門殿

〔観音寺、小谷源之助文書〕

⑨猪爪村 宝永七年（一七一〇）

寅八月

但馬国氣多郡井ノ爪村差出帳

宝永七年

但馬国氣多郡井ノ爪村

但馬國氣多郡井ノ爪村

江戸陸道 百五十五里

一、杉原四郎兵衛殿御檢地ニ御座候

一、徃古高百三十九石

一、中古高百六十六石壱斗四升壱合六勺

一、当村水損旱損共御座候

一、土地至而狭ク四方山間ニ孕まれ申候

一、魚鳥御運上

一、無御座候

一、御竹藪

一、芝野

一、桑役

一、蚕少々仕候

一、薪肥草取山

一、峠当村林山境、南者仙石越前守様御領称布村山境、西者杉原播磨守様御領八代村境

一、井字清水壱ヶ所

一、百姓持林

一、峠山 さこ野山境より東堂ヶ谷迄、高壹町位、横式町

半

一、家上山 高十五間、横式十間、

一、玉谷山 高壹丁、横谷奥迄式丁

一、□谷山 高壹丁半、横式丁半、

一、清水山 高十五間、横式十間、

一、どうどう山 高十五間、谷壹丁、

一、仏ケなる山 高十式間、横壹丁、

一、徃古高百三十九石

一、江戸陸道 百五十五里

一、杉原四郎兵衛殿御檢地ニ御座候

一、徃古高百三十九石

一、持主治郎兵衛、六郎右衛門

一、持主治郎兵衛、持主市郎左衛門

一、持主又右衛門

一、持主治郎兵衛

| | |
|-----------------------|---|
| 一、切支丹類族 | 又右衛門 |
| 一、夫食種貸米御拝借 | 是迄御地頭様代々御貸被為下候 |
| 一、西者 | 杉原播磨守様知行所八代村へ五丁 |
| 一、東者 | 小出助四郎様知行所中村へ三丁 |
| 一、稻作種 | ほう年、たけしらず、京代、北国、白餅稻作 <small>もちね</small> |
| 一、稻作毛 | 大麦、小麦、大豆、小豆、麻少々作り申候 |
| 一、当村田畑種子 | 田堀反二畝六升位 |
| 一、田ノこやし | 柴草 すこへ仕候 |
| 一、畑ノこやし | 右同断 |
| 一、定助・大助之義 | 無御座候 |
| 一、名主給米、壱石五斗 | 御地頭所より被下置候 |
| 一、年寄給 | 米貳斗 御地頭所より被下置候 |
| 一、組頭給 | 無御座候 |
| 一、定使給 | 百石ニ付米貳斗 |
| 一、樹木 | 柿、梨子少々御座候 |
| 一、野伏・山伏 | 無御座候 |
| 一、穢多・非人 | 無御座候 |
| 一、鐘扣 | 無御座候 |
| 一、行人・薦僧 | 無御座候 |
| 一、御座候 | 持主五郎左衛門 |
| 一、御座候 | 市右衛門 |
| 一、御座候 | 無御座候 |
| 一、御座候 | 無御座候 |
| 一、御座候 | 山手 |
| 一、夫錢少々 | 持主五郎左衛門 |
| 一、玉谷明神 壱社 祭礼九月朔日 | 持主五郎左衛門 |
| 一、赤藤明神 壱社 祭礼九月十二日 | 持主五郎左衛門 |
| 一、壱反五畝廿四分 地ト伝承り申候 | 持主五郎左衛門 |
| 一、下田 | 持主五郎左衛門 |
| 一、壱畝拾八分 | 持主五郎左衛門 |
| 赤藤御供田杉原伯耆守様御寄附地ト伝承り申候 | 持主五郎左衛門 |
| 従前ノ通り御地頭様代々御供料ニ被下置申候 | 持主五郎左衛門 |
| 上田 三畝五分 高三斗七升九合九勺 | 持主五郎左衛門 |
| 御地頭様代々堰料として被下置候 | 持主五郎左衛門 |
| 一、漁場 無御座候 | 持主五郎左衛門 |
| 一、大工、木挽、左官、無御座候 | 持主五郎左衛門 |
| 一、寺 無御座候 | 持主五郎左衛門 |
| 一、辻堂、式間半四方 壱ヶ所 | 持主五郎左衛門 |
| 屋敷十七坪程御地頭様代々御除地 | 持主五郎左衛門 |

| | | | |
|--------------|-----------------|----------|--------------------------|
| 一、県神子・神主 | 無御座候 | 一、芝野 | 無御座候 |
| 一、ござ・座頭 | 無御座候 | 一、大坂江 | 三十六里 |
| 一、用水堰 | 十壺ヶ所 | 一、京都へ | 三十三里 |
| 内訣 | 六ヶ所人足六十余三而閑立申候 | 一、生野御陣屋へ | 十一里 |
| | 四ヶ所小出領中村と立会閑立申候 | 一、出石御城下江 | 三里半 |
| | 壺ヶ所八代村ト立合閑立申候 | 一、豊岡御城下江 | 武里半 |
| 御地頭所より井料被下候事 | | 一、農業 | 男ハ冬春雪中ニ付、木荷い壳仕候 |
| 一、橋三ヶ所 | どうどう 土橋壺ヶ所 | 女ハ布總仕候 | |
| 一、溜池 | 壺ヶ所 | | |
| 一、川運上 | 無御座候 | | |
| 一、渡船 | 無御座候 | 一、御檢見之儀 | 只今迄ハ惡年之節御地頭所へ御伺之上、 |
| 一、牛六疋 | 内、武疋 | | 年番名主其外七ヶ村名主立合、御取箇取 |
| 四疋 | 女牛 | | 右者今般御分地ニ相成候ニ付御改被仰付、依之田畠並 |
| 一、惣家數 | 三十一軒 | | 浮役其外臨時物等相改書上申候所少茂相違無御座候。 |
| 一、惣人數 | 百三十武人 | | 若隠置後日相頤候ハバ如何様之曲事ニ也可被仰付候。 |
| 内、男六十九人 | | | 以上 |
| 女六十三人 | | | |
| 此外老人も無御座候 | | | |
| 一、華族塚 | | | |
| 一、名所・古城跡 | | | |
| 一、宮林 | | | |
| 御座候 | | | |
| 無御座候 | | | |
| 無御座候 | | | |
| 高柳数右衛門様 | | | |
| 杉原源七郎様御内 | | | |
| 年寄 | 井ノ爪村 | | |
| 六郎右衛門 | 庄屋 治兵衛 | 宝永七年寅八月 | |
| 高柳数右衛門様 | ⑩ | | |
| 〔猪爪、吉谷勉文書〕 | ⑪ | | |

⑩ 伊府村 宝暦三年（一七五三）

宝暦三年

伊府村指出し明細帳

西五月

但州氣多郡伊府村

八拾六ヶ年以前寛文八申年石川庄次郎様御検地帳面表冊御

座候

一、古高、三百五拾四石六斗二升

一、新檢高、三百拾四石七斗五合、石川庄次郎様御検地高

此反別 武拾八町三反三畝拾八步

内、

田高、武百六拾七石四斗五升三合

此反別、式拾武町拾武歩

内、

五町式反程 両毛作仕候

烟高、四拾七石武斗五升武合

此反別 六町三反三畝六歩

外二

式畝廿四歩 昆沙門赦免地

表畝歩

式反歩 荒川原惣持分

此訛

上田、九町七反四畝武拾歩 石盛十三

此分米、百拾六石七斗壹升壹合

内、 式反三畝九歩 永荒

此分米、三石式升九合

式畝歩 前々川欠

此分米、武斗六升

中田、五町九反壹畝拾五歩 石盛十二

此分米、七拾石九斗八升

内、 三畝廿四歩 永荒

此分米 四斗五升六合

下田、六町三反四畝六歩 石盛十一

此分米、六拾九石七斗六升武合

内、 七畝九歩 永荒

此分米、八斗三合

六歩、 前々川欠

此分米、式升武合

右之内、 六石五斗五合 丑起返

| | | |
|--------------|-------------|---|
| 屋舗 | 此反別五反拾五歩 | 此分米 三斗八合 |
| 七反武畝六歩 | 石盛十三 | 下烟、壱町六反三畝武拾七歩 石盛四ツ |
| 此分米、九石三斗八升六合 | 石盛十 | 此分米、六石五斗五升六合 |
| 内、 | 内、 | 内、 |
| 壱畝歩 | 壱畝歩 | 武畝三歩 |
| 此分米、壱斗三升 | 此分米、八升四合 | 此分米、永荒 |
| 麻烟、四反八畝三歩 | 石盛十三 | 下々烟、九反九畝拾武歩 石盛三ツ |
| 此分米、六石武斗五升三合 | 石盛十一 | 此分米、武石九斗八升弐合 |
| 上々烟、五反九畝拾五歩 | 石盛十 | 内、 |
| 此分米、六石五斗四升五合 | 内、 | 七畝歩 |
| 内、 | 此分米 | 此分米 武斗壱升 |
| 壱畝拾貳歩 | 永荒 | 永荒 |
| 此分米、壱斗五升四合 | 右之内 | 右之外 |
| 上烟、七反四畝三歩 | 三斗武升三合 | 此反別、五畝三歩 |
| 石盛十 | 丑起返 | 地不足 |
| 此分米、七石四斗壹升 | 高三拾八石壱斗六升五合 | 高 壱石七斗五升 山高 |
| 内、 | 石川庄次郎様御検地 | 一、当村之儀ハ先年ハ石川庄次郎様御知行所ニ而御座候。 貞享元（一六八四）子年より御料ニ罷成、元禄四（一六九二）未年迄八ヶ年之間生野御代官酒井七郎左衛門様御支配、元禄五（一六九二）申年以来同十四（一七〇一） |
| 武畝拾五歩 | 永荒 | |
| 此分米 武斗五升 | | |
| 中烟、壱町壱反六畝歩 | | |
| 此分米、八石壱斗貳升 | | |
| 内、 | | |
| 四畝拾貳歩 | 永荒 | |

己年迄拾ヶ年之間秋山七郎左衛門様御支配、同拾五（一七〇二）午年より正徳式（一七一二）辰年迄十一ヶ年之間平岡四郎左衛門様御支配、同三（一七一三）巳年より享保式（一七一七）丑年迄五ヶ年之間清野与右衛門様御支配、同三（一七一八）戌年長谷川庄五郎様石川四郎右衛門様御兩人御預り、同四（一七一九）亥年蘿部源次郎様鈴木運八郎様御兩人御預り、同五（一七二〇）子年より同九（一七二四）辰年迄五ヶ年之間飯塚孫次郎様御支配、同十（一七二五）巳年迄飯塚吉之丞様小泉市太夫様御兩人御預り、同十一（一七二六）午年より同十四（一七二九）酉年迄四ヶ年之間長谷川庄五郎様平岡彦兵衛様御兩人御預り、同十五（一七三〇）戌年中嶋内蔵の助様御支配、同十六（一七三一）亥年同十八（一七三三）丑年迄三年之内岡田太夫様御支配、同十九（一七三四）寅年より元文四（一七三九）未年迄六年之内小林孫四郎様御支配、同五（一七四〇）申年石原清治郎様疋田庄九郎様千種清右衛門様御預り、寛保元（一七四一）酉年より延享二（一七四五）丑年迄五年之間堀江清治郎様御支配、同三（一七四六）寅年より宝曆二（一七五二）申迄七ヶ年之間小野左太夫様御支配、同三（一七五三）当酉年より岩佐郷蔵様御支配ニ罷成候

一、當村田方御檢見入之節、内見六尺五寸竿用ひ申候

一、家数 五拾六軒 高持 五拾貳軒
内、男 百三人、女百拾三人
此人別 式百拾六人
但し、
牛十疋、馬無御座候

他村より入作高百五拾八石壹斗壹升六合

百姓数 拾八人

他村江出作高

無御座候

禪宗、金野、隆国寺末庵

一、庵 壱軒 千貞と申比^ビ^ク工丘居申候、但し庵号ハ正伝

庵と申候

一、社 七ヶ所 岡防大明神

稻荷大明神

三宝荒神

衣胞荒神

若宮

伊勢宮

ひじり宮

阿弥陀堂

毘沙門堂

村支配

地蔵堂

一、田地

凡三歩通、用水懸りニ而御座候
武歩通程、清水懸りニ而、毎年冷痛ニ而作不出

來ニ御座候

高拾七石ほど惡地ニ而、御年貢不足ニ而御座候。
烟拾武石程惡地ニ而、御年貢不足ニ御座候。

高四拾石程水損所御座候。当村之儀ハ谷之水落
合ニ而洪水之節ハ六、七歩通りも水押申事ニ御
座候

一、百姓林 三ヶ所 但、反別ハ無御座候

立木ハ栗、松其外少々宛御座候

此高四斗六升八合、本高ニ込御年貢上納仕候

一、村中立会山之儀、往古より御支配所之内、知見村之奥
江伊府村、篠垣村、知見村、三ヶ村立会山ニ而入来り

肥草、薪木 取申候、山高壹石武斗八升武合、本高込
メ御年貢上納仕候

一、秣場山 壱ヶ所

此山手米武石壹斗八升、是ハ仙石越前守様御知行
所、同郡夏栗村山、古来より預り来り、肥草取り申
候、山手米每年納所仕候

一、当村之儀 山附之村ニ而ハ 無御座候

一、当村 市場ニ而ハ 無御座候

一、当村 往來筋ニ而も馬繼ニ而も無御座候

一、当村より助人馬 何方へも出し不申候

但し、落合川下ハ出石御領分道場村へ流申候、川長

サ凡六百間余、川はば拾六間、荒石川、橋渡シニ而

大阪江道 三拾六里
但、海上ハ存知不申候
京都江道法 三拾三里

出石御城下へ道法 五里
豊岡御城下へ道法 四里

無御座候

一、橋 壱ヶ所

□橋長サ武拾間はば武尺あつさ五寸之四間木五枚中

一、御林

無御座候

一、沼

無御座候

一、古城跡

無御座候

一、橋 壱ヶ所

無御座候

- 一、郷藏 壱ヶ所 長式間半、横式間
繼、高サ六尺之籠、村入用ニ而掛ケ申候
無御座候
- 此反別、壹畝歩
- 一、御廻米 京、大阪、江戸其外 無御座候
一、御小物成 上銀九匁九分 桑役御座候
無御座候
- 一、運上
一、高挂り物
- 一、御口米 本途米ニ付三升づつニ而御座候
大豆納ハ本途米ニ拾分一被仰候
餅米上納
- 一、御銀ハ 無御座候
- 一、御国役掛高
一、御鉄砲、合葉、大阪御城内外竹葦繩代等之懸り物高
無御座候
- 一、御年貢米之内、定式銀納と申証無御座候
一、川獵 無御座候
- 一、海獵 無御座候
- 一、鳥獵 無御座候
- 右高札場 無御座候。持地之内ニ立來り申候
一、口留メ番所 無御座候
- 一、井堰 壱ヶ所
荒川村、川筋長サ三拾間、根置壹間、高サ五尺、石
つミニ而、筵ニモニ而堰仕候
- 一、用水 壱ヶ所
荒川村清水ヲ引申候、井溝長サ武百五拾間、幅武尺
尺
- 一、用水 壱ヶ所
壹ヶ所ハ野村清水ヲ引申候、井溝長サ武百五拾間、幅武
尺
- 一、溜池
一、船
内、壹枚ハ切支丹札
壹枚ハ火之類札
- 右高札場 無御座候。持地之内ニ立來り申候
一、口留メ番所 無御座候

- 一、男女、平生農業之間、冬春ハ繩、こも、筵、其外年中之入用わら細工作候。女ハ布、木綿少々仕、其外身かわの継ぎ等仕候
- 一、獵師鉄砲
一、御鉄砲 壱挺預り、則御預り証文指上げ置申候
- 一、酒株高
田畠質地 無御座候
- 一、田方
上田壱反ニ付 銀九拾目より百匁位
中田壱反ニ付 銀六拾目より七拾四、五匁位
下田壱反ニ付 銀六拾目より七拾位
但、場所より惡地ハ取手無御座候
- 畑方ハ田地ニ相添ヘ不申候而ハ取手無御座候
- 一、田畠小作入上ヶ
上田 壱反ニ付、壹石三、四斗位
中田 壱反ニ付、壹石壱、武斗位
下田 壱反ニ付、七、八斗より九斗迄
- 烟上々烟壱反ニ付、四斗位
上烟 壱反ニ付、三斗五升位
中烟 壱反ニ付、三斗位
下烟 壱反ニ付、武斗壱、武升位
下々烟壱反ニ付、壱斗七、八升より武斗迄
麻烟 壱反ニ付、壹石壹斗位
- 屋敷 壱反ニ付 壱石武斗位
- 一、田方
刈上げハ彼岸より刈上仕候
前より植付仕候
- 早稻苗代ハ八十八夜之時分、植付ハ、五月中、十日
中稻苗代早稻方同時刈上げハ秋土用より仕候
但し、四歩通 早稻方
- 六歩通 中稻晚稻
麦蒔付之儀ハ大雪所致、秋之季ニ入候ヘバ大
麦、小麦共蒔付申候
- 一、畑方
粟、稗ハ八十八夜之時分ニ蒔付申候
大豆ハ、五月之節ニ入候ヘバ植申候
蕎麦ハ、七月中より段々蒔付申候
- 一、肥
田方ニハ柴草、げこゑ、馬屋こゑ、炭仕候
畑方ニハ馬屋こゑ、げこゑ、炭仕候
- 一、村方役人給
庄屋壱人ニ付 米武石
筆墨紙代銀武拾五匁、前より極申候
年寄壱人ニ付 米六斗
定役壱人ニ付 米六升

一、古切支丹類族

一、出家

一、山伏

一、虛無僧

一、浪人

一、醫師

一、大工

一、木挽
壹人

一、屋ね葺

一、馬医

一、紺屋

一、獵師

一、馬喰

一、座頭

一、馬喰

一、神子

一、鍛治

一、猿廻し

一、かねたたき

一、穢多

一、非人
式人

右者當村様子明細書如此二御座候。若相違之義書上ゲ候ハ

バ何分之御咎をも可被仰付候。為其帳面連判仕差上申候。

依而如件

宝曆三年酉五月（一七五三）

但馬國氣多郡伊府村

庄屋

年寄

惣百姓代

定七

与兵衛門

彦左衛門

〔伊府、西田榮喜文書〕

⑪野村 宝曆十年（一七六〇）

宝曆十年

但馬國氣多郡野村指出明細帳

辰

八拾五年以前延寶四年辰（一六七六）京極甲斐守様御
檢地ニ而御檢地帳御座候

但馬國氣多郡野村

一、高、三百武拾四石八斗六升

内、三拾武石壹斗三升 地不足

二石七斗

元田畑ニ成計

残る高 武百九拾石三斗

此反別 三拾武町壹反五畝步

田高 武百五拾四石四斗四升六合

| | |
|--------------------|-------------------|
| 此反別 | 武拾四町五反四畝拾五步 |
| 内、六町程 | 兩毛作 |
| 畠高 | 三拾五石五斗八升四合 |
| 此反別 | 七町六反拾五步 |
| 此訛 | |
| 上田 | 六町九反八畝武拾七步 石盛壱石三斗 |
| 此分米、九拾石八斗五升七合 | |
| 内壹畝六步 | |
| 中田 | 五町三畝步 御竿打減 |
| 此分米、壹斗五升六合 | |
| 下田 | 拾壹町壹反武畝步 石盛壱石壹斗 |
| 此分米、五拾五石三斗三升 | |
| 内武拾壹步 | 溝引 |
| 此分米、七升七合 | |
| 内壹畝九步 | 永荒 |
| 此分米、百石八升 | |
| 此分米、壹斗壹升七合 | 石盛九斗 |
| 三步道引 | |
| 此分米、九合 | |
| 廿七步 段免 | |
| 此分米、八升壹合 | |
| 下々田 壱反三畝九步 | 石盛七斗 |
| 此分米、九斗三升壹合 | |
| 内壹畝九步 | 段免 |
| 新下田 | 八反八畝三步 石盛六斗 |
| 此分米、五石武斗八升六合 | |
| 内壹反武畝三步 | |
| 新下々田 | 三反九畝六步 石盛五斗 |
| 此分米、七斗武升六合 | |
| 内壹畝拾八步 段免 | |
| 上畑 壱反七畝九步 石盛壱石 | |
| 分米 拾武石五斗三升 | |
| 中畑 五反武畝拾八步 | |
| 分米 三石壹斗五升六合 | |
| 下畑 壱町七反六畝步 石盛六斗 | |
| 分米 八石八斗 | |
| 下々畑 壱町八反武畝廿四步 石盛三斗 | |
| 分米 五石四斗八升四合 | |
| 新上畑 壱畝武拾壹步 石盛八斗 | |

| | |
|---|--------|
| 分米 壱斗三升六合 | 石盛六斗 |
| 新中烟 七畝九步 | |
| 分米 四斗三升八合 | |
| 内、三升貳合 茶下引換 | |
| 残、四斗六合 | |
| 新下烟 壱反貳畝廿七步 | 石盛三斗 |
| 分米 三斗八升七合 | |
| 新下々烟 壱町三反五畝廿壹步 | 石盛貳斗 |
| 分米 武石七斗壹升四合 | |
| 内、貳畝歩 永荒 | |
| 分米 四升 | |
| 山畠 四反八畝式拾七步 | 石盛壹斗貳升 |
| 分米 五斗八升六合八勺 | |
| 内、六畝歩 永荒 | |
| 分米 七升貳合 | |
| 一、高、五斗三升九合 | 新田石盛七斗 |
| 内、九升八合 正徳貳年辰年（一七一二）御竿入 | |
| 四斗四升壹合 正徳三年巳年（一七一三）御竿 | |
| 入 入 | |
| 一、見取り田畠 無御座候 | |
| 一、当村之儀往古京極甲斐守様御私領、享保十一年年（一七二六）御上知ニ相成、午未申平岡彦兵衛様御代官 | |
| 所、酉年石原清左衛門様御代官所、戌年中嶋内蔵之助様御代官所、亥子丑岡田庄太夫様御代官所、寅卯元文元（一七三六）辰巳午未小林孫四郎様御代官所、元文五申年（一七四〇）石綿清左衛門様定田庄九郎様千種清左衛門様右御三人様御代官所、寛保元酉年（一七四五）より延享二丑年（一七四五）迄五ヶ年堀江清三郎様御代官所、延享三年寅（一七四六）より宝曆二申（一七五二）迄七ヶ年小野佐太夫様御代官所、酉年より亥まで三年岩佐郷藏様御代官所、子年より卯まで斎藤新八郎様御代官所、当辰年大野佐左衛門様御支配所ニ罷成候 | |
| 一、当村方御検見入之節、内見之間竿六尺五寸竿用來候 | |
| 一、家数 六拾三軒 高持 四拾三軒 | |
| 人数 男 百四十人 水呑 貳拾軒 | |
| 内、但し、他村より入作 百四十四人 | |
| 高、七拾壹石壹升九合 | |
| 他村へ出作 百姓三人 | |
| 高、拾五石壹斗三升 | |
| 一、庵 壱ヶ所 但馬国氣多郡金野隆国寺末庵禪宗 地蔵院 | |

往古ハ寺にて御座候へども、當時大破ニ及、庵ニて
御座候 御年貢地ニ而御座候、村中より上納仕候
一、社 四ヶ所 内壱ヶ所祭神妙見、村持山ニ御座候、三
ケ所ハ小社、是も村持山ニ御座候、神主、祢宜、
別當、無御座候

一、堂 壱ヶ所 村中持にて御座候

但、地藏堂御年貢地にて村中より上納仕候

一、當村より隣郷

| | | |
|---|------|----|
| 東 | 久田谷へ | 十丁 |
| 南 | 伊府村へ | 八丁 |
| 北 | 庄境村へ | 五丁 |

道法

| | |
|-----------|-------|
| 江戸へ | 百五十里余 |
| 大阪へ | 三十五里余 |
| 京都へ | 三十三里余 |
| 生野へ | 拾壹里余 |
| 当国出石御城下へ | 四里半 |
| 当国豊岡御城下へ | 五里 |
| 因幡國鳥取御城下へ | 十八里余 |
| 播磨國姫路御城下へ | 廿壱里余 |
| 丹波國柏原御城下へ | 十四里余 |

丹後宮津御城下へ 十四里余
丹後國久美浜へ 六里半余
一、御林 当村ニ無御座候

一、百姓持山
字引坂壹ヶ所、すそ通り凡三町計り、上り三十間よ
り百間計、町歩知不申候。

字大平壹ヶ所、すそ通り凡四町計り、上り三十間よ
り百間計り、町歩知不申候。

字五郎山壹ヶ所、すそ通り凡壹町計り、上り三十間
計り、町歩知れ不申候。

一、百姓惣山 是ニ而秣柴取り申候

一、預り山 杉原八太夫様御領分同郡八代村之山、往古よ
り当村ニ預り、壹ヶ所之山年貢米壹石五斗九
升ヅツ毎年八代村へ相納申候。右之山ニ通ひ
道代として米武斗づつ仙石越前守様御知行所
頃垣村へ相渡申候。右之山ニ而肥草薪等取り
申候

一、当村之義 山中之平地ニ而御座候
一、市場海辺 無御座候
一、当村往還筋ニ而 無御座候
一、当村より助人馬出候儀 無御座候
一、当村田方之内四町程八年ニより旱損御座候。式拾町五

| | |
|---|---|
| 反余ハ用水十戸村冷水を引申候。此内壱町余ハ年ニより水押し之水損御座候。畠方之儀ハ土地くろぼこ土にて御座候ゆへ、年ニより皆でも旱損御座候。 | 銀 四拾八匁八厘 定納 桑役 此外小物成運上物 無御座候 |
| 一、当村之内に小川御座候。川上ハ庄境村より川下久田谷村へ流。但し田地之中を流出し、但当村之内凡長サ七町計り川幅壱間程之小川ニ而御座候へ共、水上大岡山より出候故、水出之節ハ田地も損じ申候。 | 一、高掛物之事 六尺給米、六斗九升壱合 但高百石ニ付或斗四勺 御伝馬宿入用、米壱斗九升五合但高百石ニ付六升内 御藏米入用、銀四拾八匁八分壱厘 但高百石ニ付拾五匁式分五厘 |
| 一、橋 壱ヶ所 石橋 辺坂川 橋長八尺幅六尺 | 一、口米銀 |
| 一、埣伏埣水門寛堤等 無御座候 | 是ハ本途小物成、米壱石ニ付三升。 小物成銀百匁ニ付三匁。 |
| 一、古城跡 | 一、國役懸り高 |
| 一、御巣鷹山 | 一、大阪御城 内外掛り物一切無御座候 |
| 一、高札 弐枚 | 一、御年貢之儀 皆銀納ニ而御座候 |
| 内壱枚 切死丹御高札 | 一、川獵海獵鳥獵 無御座候 |
| 壹枚 火付 御制札 | 一、男女平生農業之間 稼之事 |
| 一、御留所 | 男ハ農具繩俵等之外稼無御座候 |
| 一、郷藏 壱ヶ所 | 女ハ布木綿少づ仕候自分入用程ニ而御座候 |
| 一、御廻米 | 一、獅師 鉄炮 無御座候 |
| 忽而御廻米之事無御座候 | 一、威鉄炮 壱挺御座候 持主善七 但し預り証文届出置申候 |
| 一、小物成之事 | 一、酒株御座候 捨五石壱斗或升五合、元禄十一(一六九七)丑送り高 |
| 米 五斗五升 | |
| 米 定納 山役 | |
| 米 定納 茶役 | |

五石四升弐合、正徳五年（一七一五）送

り高 持主又五郎

一、田畠質入直段之事

大豆

五月節頃植、彼岸迄ニ引取申候

一、虚無僧

壱人

無御座候

蕎麦

七月中頃蒔、九月下旬刈取り

一、屋根葺

壱人

御座候

麻

春彼がん蒔、六月土用ニ引取り

一、馬医

壱人

御座候

大こん

六月土用之内蒔、十月内引

一、紺屋

式人

御座候

小豆

四月中旬蒔、九月中旬引取。

一、獵師

壱人

御座候

一、肥し之事

田方ニハ草肥亦ハいわし等仕候。

一、神子

式人

御座候

畑方ニハ灰、草等仕候。

一、鐵治

壱人

御座候

一、村方役人給事

庄屋壱人ニ付米弐石九斗、但百分一給。

一、猿廻し

壱人

御座候

但し筆墨を右之内ニ相勧メ。

一、鉢たたき

壱人

御座候

外ニ高廿九石之役ヲ免ズ。

一、非人番

壱人

御座候

年寄給 壱人ニ付高拾石之免を免ズ。

一、浪人

壱人

御座候

小夫給 壱人ニ付米壱石

一、穢多

壱人

御座候

右之外役人給

無御座候

無御座候

切死丹類族

但馬国氣多郡野村

庄屋

又五郎

一、出家 壱人

宝曆十年辰

伝三郎

御座候

年寄

山伏 壱人

無御座候

無御座候

右ハ当村様子明細帳□□ニ御座候。若し相違成義書上候
ハバ何分之御咎めも可被仰付候。為其帳面之連印仕差上
申所、依而如件。

百姓代 善七
百姓代 友右衛門

久美浜御役所

烟高、四拾壹石六斗五升九合
此反別、六町壱反八畝六步

此訛、

(12)伊福村 明和九年(一七七二)

明和九年

但馬国氣多郡伊福村指出明細帳

辰正月

此分米、五斗五升九合

残、六町三反七畝拾五步 毛付

此分米、八拾弐石八斗七升五合

中田 七町四反壹畝九步 石盛壹石貳斗

此分米、八拾八石九斗五升六合

下田 九町五反四畝三步 石盛壹石壹斗

此分米、百四石九斗五升壹合

内、

三畝廿一步 延宝八申年、堤下土手敷引

此分米、四斗七合

八畝九歩

享保十三申より子迄五ヶ年、定免之内
石砂入川成引

此分米、九斗壹升三合

壹反弐畝廿一步 去ル丑起場

此分米、壹石三斗九升七合 段免

内、

田高、武百七拾七石三斗四升壹合

此反別、武拾三町三反七畝十八歩

但、内三町程、兩毛作

| | |
|---|--|
| 残九町式反拾武歩 毛付 | 此分米、武斗六升四合 |
| 此分米、百武石武斗三升四合 | 三畝十三歩 享保十九寅年 川欠 |
| 上畑 壱町式反七畝歩 石盛壹石 | 此分米、武斗七升四合 |
| 此分米、拾武石七斗 | 式畝歩 寛延元酉年 山崩川成 |
| 内、 | 此分米、武斗六升 |
| 七畝六歩 年久敷年数不相知 | 四反十武歩 明和五子年 川欠石砂入 |
| 此分米、七斗武升 | 此分米、三石武斗三升武合 |
| 五畝歩 明和五子年、川欠 | 七畝歩 同六丑年 石砂入 |
| 此分米、五斗 | 此分米、五斗六升 |
| 六畝拾八歩 去ル丑起場 段免 | 残八反九畝拾七歩 毛付 |
| 此分米、六斗六升 | 此分米、七石壹斗六升六合 |
| 残壹町八畝六歩 毛付 | 下畑 三町四反壹畝式拾七歩 石盛五斗 |
| 此分米、拾石八斗武升 | 此分米、拾七石九斗五合 |
| 中畑 壱町四反七畝廿一步 石盛八斗 | 内、 |
| 此分米、拾壹石八斗壹升六合 | 壹畝五歩 年久敷 年数不知 |
| 式畝歩 享保十三申より子迄五ヶ年定免之内、 | 此分米、五升九合 |
| 酉年 川欠石砂入引 | 式反拾武歩 享保十三申より子迄五ヶ年定免之内 |
| 此分米、壹斗六升 | 酉年 石砂入川成引 |
| 三畝九歩 享保十八丑より元文二日迄五ヶ年定免之内、寅年 川欠十步一斗不当分、元文三 | 此分米、壹石武升 |
| 文三年より御引高 午より御引 | 八畝歩 享保十八丑より元文參日迄五ヶ年定免之内、寅年 川欠拾步一斗不当分、元文三 |

此分米、四斗

七畝九歩 享保十九寅年 川欠

此分米、三斗六升五合

壱町廿四歩 寛延二巳年 石入

此分米、五石四升

武反三畝九歩 明和五子年 石入

此分米、壹石一斗六升五合

四反四畝廿四歩 去ル丑起返り 段免

此分米、武石弐斗四升

残、壱町三反六畝四歩 毛付

此分米、六石八斗六合

下々烟 壱畝拾八歩 石盛三斗

此分米、四升八合

一、新田

無御座候

見取場

一、当村之義、往古ハ出石御預り地ニ而、其後延宝四辰年

同国城崎郡豊岡京極甲斐守様御知行所ニ罷成、享保十

二未年より御上知ニ罷成、同十四酉年迄二ヶ年御代官

平岡彦兵衛様御支配、西年より同拾七年迄御代官千

種清右衛門様御支配、翌丑年壱ヶ年御代官岡田太夫

様御支配、同拾九年より元文四未年迄六ヶ年御代官

小林孫四郎様御支配、翌申年壱ヶ年御巡見御代官様、

一、寺院 一、社 三ヶ所 氏神八幡宮御社山ニ御座候。并御族社春

寛保元酉年より延享武丑年迄五ヶ年御代官堀江清治郎

様御支配、同三年寅年より宝曆武申年迄七ヶ年御代官

小野左太夫様御支配、同酉年より亥年迄三ヶ年御代官

岩佐郷藏様御支配、同六年より同十三未年迄斎藤新

八郎様御支配、宝曆十四申年より当御支配ニ罷成候。

一、当村田方御検見之節ハ内見間竿六尺三寸竿前々より用

來り候

一、家数 九拾九軒 内高持 弐拾八軒

人數 男 弐百弐拾三人 女 百九拾九人

百姓五人 他村江出作 高四百弐拾石 牛 拾三疋

外、穢多家数 三拾五軒 人數 男 百拾七人 女 七拾弐人

非人番家 壱軒 人數 男 弐人 女 三人

百姓七人

